

大島屋伝右衛門出版書目年表稿

松永 瑠成

凡例

- 一、書肆大島屋伝右衛門が出版に携わった書籍のうち、現段階で確認しえたものを年代順に記載した。
- 一、大島屋が求版した書籍についても、その年代の明らかものは記載した。
- 一、書名ごとに立項し、分類と員数に加え、書誌事項を次の項目に従って示した。

【著編者】…著者・編者・校閲者等を通行の名に改めて示した。

【序年・序者】…序文の記された年・序文を記した人物を示した。また、序文が複数ある場合は、①・②・③とそれぞれ項目を設けた。

【跋年・跋者】…跋文の示された年・跋文を記した人物を示した。

【画工】…通行の名に改めた画工名を示した。

【筆耕】…通行の名に改めた筆耕名を示した。

【奥付等】…奥付を抜粋した。奥付を確認できていない場合は「未見」としたが、見返しや序文から出版した書肆が判明する場合は、当該部分を抜粋した。

【目録】…Aは「文永堂蔵版目録」（『玉散袖』下巻所収）、Bは「文永堂蔵版目録」（『斯波遠説七長臣』巻五所収）、Cは「文永堂新鑄目録」（『松の操物語』下巻所収）、Dは「米八婀娜吉丹次郎の物語類本目録」（『春色英対暖語』五編上巻所収）、

Eは「書林文永堂蔵版目録」（東京大学図書館蔵『文永堂文溪堂蔵版目録』（E34392）所収）とい

ったように、大島屋の主な蔵版目録を指す。

【備考】…特記すべき事項を示した。

一、【序年・序者】【跋年・跋者】【画工】【筆耕】【目録】

【備考】の項目は、該当する書誌事項がない場合は省略した。

一、明治三（一八七〇）年以降は、分類の項を省略した。

文化一二（一八一五）年乙亥

御利生正札附千社参 初編 二卷二冊 滑稽本

【著編者】振鷺亭【序年・序者】①振鷺亭②文化一二

・米々斎【画工】歌川国芳【筆耕】不詳【奥付等】「文

化十二乙亥歳正月発兌／江戸書賈 和泉屋市兵衛／三崎

屋清吉／中村屋幸蔵／大寫屋伝右工門梓【備考】内題

次行には「米々斎述」とあるが、おそらくこれは振鷺

亭の別号。なお、見返し・口絵には「江戸書賈 文耕堂

梓」「板元文耕堂」とそれぞれある。

文政三（一八二〇）年庚辰

花暦八笑人 初編 二卷二冊 滑稽本

【著編者】滝亭鯉丈【序年・序者】琴通舎英賀【画工】

溪斎英泉・歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】A B C E【備考】巻二巻末に滝亭鯉丈作『栗毛後

駿足』三編の近刊予告あり。また後印本には『人心覗機関』後編の広告が備わる。

文政四（一八二一）年辛巳

花暦八笑人 二編 二卷二冊 滑稽本

【著編者】滝亭鯉丈【序年・序者】①文政四・大八海

老人②文政四・滝亭鯉丈【画工】溪斎英泉・歌川国直

【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】A B C E【備考】

上巻に一筆庵主人作『松の操物語』、同作『松操／後編』畠山情の聞書』（『貞烈竹節談』か）の広告および

『明烏後正夢』二編、鼻山人作『言葉花』の近刊予告

あり。

玉散袖 五卷五冊 人情本

【著編者】東里山人（鼻山人）【序年・序者】文政四・東里山人（鼻山人）【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】「文政四辛巳歳春発兌／東都書肆 鶴屋金助／大阪屋茂吉／加賀屋佐兵衛／大島屋伝右衛門梓」【目録】A B【備考】角書は「生死／流転」。下巻末に「文永堂蔵版目録」を備える。

松の操物語 三卷三冊 人情本

【著編者】一筆庵主人【序年・序者】文政三・一筆庵主人【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】「文政四辛巳歳孟春／江戸書賈 神田弁慶橋 丸屋文右衛門／同 豊嶋町 加賀屋佐兵衛／京橋弥左工門町 大島屋伝右工門版」【目録】A B C E【備考】角書は「人生／榮枯」。下巻末に一筆庵主人作『貞烈竹節談』の広告あり。また「文永堂新鑄目録」を備える。

斯波遠説七長臣 五卷六冊 読本

【著編者】梅暮里谷峨【序年・序者】文政三秋・烏有山人【画工】歌川国直・溪斎英泉・直繁・国雪【筆耕】田中正蔵・嶋田道友【奥付等】「大坂書房 心齋橋筋唐物町 河内屋太助／久太郎町北江入 河内屋平七／京都書房 寺町錦上ル 伏見屋半三郎／江戸書房 人形町通乗物町 鶴屋金助／日本橋砥店 大坂屋茂吉／橋町二丁目 越前屋長次郎／弥左工衛門町 大嶋屋伝右衛門」【備考】大坂本屋仲間記録「出勤帳」文政四年十一月廿日の項に「同人（引用者注 河内屋太助）が、斯波遠説七長臣 出本持参、添章認置」（大阪府立中之島図書館編『大坂本屋仲間記録』第三卷、清文堂出版、一九七七年）とあることから、藤沢毅氏は本書の刊年を文政五年としている（『翻刻 斯波遠説七長臣』尾道市立大学芸術化学部日本文学科近世文学原典講読ゼミ、二〇一八年）。だが、文政五年の刊記を持つ本を確認できない以上、本書の刊年は文政四年とすべきであろう。

奇談園の梅 五卷五冊 読本

【著編者】梅園主人【序年・序者】文政四秋・梅園主人【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】「文政四巳

年季秋／江戸書房 人形町通乗物町 鶴屋金助／弥左工
門町 大嶋屋伝右衛門」【備考】雲府觀天步作『邂逅物
語』（寛政九年刊）の改題改修本。

文政五（一八二三）年 壬午

花街鑑 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政五・鼻山人【画
工】白水漁人【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】B
E【備考】角書は「玉菊／全伝」。下巻末に『契情買伝
授の巻』の近刊予告あり。

鼎臣録 五卷五冊 読本

【著編者】瀬川如阜【序年・序者】①文政五・散木居
士②文政五・瀬川如阜【画工】溪斎英泉【筆耕】藍庭
晋米・田中正造・千形道友【奥付等】「文政壬午陽旦発
行同志東都書房 馬喰町 永寿堂西村屋与八／乗物町 双
鶴堂鶴屋金助／通油町 仙鶴堂鶴屋喜右衛門／日本橋
文魁堂 大坂屋茂吉／長者町 連玉堂加賀屋源助／弥左
衛門町 文永堂大島屋伝右衛門／新泉町 文亀堂 伊賀屋

勘右衛門／松坂町 平林堂 平林庄五郎／小伝馬町 文溪
堂丁子屋平兵衛／文政五年壬午閏正月発鬻 江戸書房
青林堂越前屋長次郎」【備考】角書は「木曾／義仲」。
巻五巻末に『鼎臣録』二編の近刊予告あり。

文政六（一八二三）年 癸未

花暦八笑人 三編 二卷二冊 滑稽本

【著編者】滝亭鯉丈【序年・序者】駄亭駒人【画工】
溪斎英泉・歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【目
録】E【備考】上巻に滝亭鯉丈作『和合人』初編、滝
亭鯉丈・南仙笑楚満人作『千社参利生札数』の広告あ
り（「文永堂開販目録」）。

和合人 初編 三卷三冊 滑稽本

【著編者】滝亭鯉丈【序年・序者】溪斎英泉【画工】
溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】「文政六癸未年正月吉
日発行／人形町乗物町 双鶴堂 鶴屋金助／橋町二丁目
青林堂 越前屋長次郎／馬喰町二丁目 永寿堂 西村屋与
八郎／小伝馬町三丁目 耕書堂 蔦屋重三郎／京橋弥左

衛門町 文永堂 大嶋屋伝右工門／小伝馬町三丁目 文溪堂 丁子屋平兵衛【備考】上巻に「諸先生著編 文溪堂 開版目録」を備える。

契情意味張月 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政六・鼻山人【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】B
E

契情意味張月 後編 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】鼻山人【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】BE

総媛借語 五卷五冊 読本

【著編者】瀬川如阜【序年・序者】文政五・為一陳人【画工】溪斎英泉【筆耕】瀧埜音成・千形道友・田中正道【奥付等】「文政六稔癸未春正月発兌／新春喜慶大吉利市／東都書肆 耕書堂 蔦屋重三郎／青林堂 越前屋 長次郎／木蘭堂 榎本平吉／双鶴堂 鶴屋金助／文溪堂 丁子屋平兵衛／平川館 伊勢屋忠右衛門／文永堂 大嶋

屋伝右衛門／永寿堂 西村屋与八郎【備考】角書は「相馬／将門」。巻末に『総媛借語』二編の近刊予告あり。奥付の「文政六稔」を「文政七稔」とするものもある。

文政七（一八二四）年 甲申

花暦八笑人 三編追加 二卷二冊 滑稽本

【著編者】滝亭鯉丈【序年・序者】琴通舎英賀【画工】溪斎英泉・歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】「文政七稔 甲申陽春発販冊子／江戸書賈 双鶴堂 鶴屋金助／青林堂 越前屋長次郎／文永堂 大嶋屋伝右工門」【目録】E
【備考】下巻末に滝亭鯉丈作『牛島土産』、駄亭駒人・滝亭鯉丈・南仙笑楚満人・東里山人作『秋雨物語』の 広告あり。

牛島土産 三卷三冊 滑稽本

【著編者】滝亭鯉丈【序年・序者】①文政七春・南仙笑楚満人②文政七・滝亭鯉丈【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】「文政七稔甲申陽春発販冊子／江戸書賈 双鶴堂 鶴屋金助／文永堂 大嶋屋伝右衛門／青林堂

越前屋長次郎」【備考】角書は「滑／稽」。下巻巻頭に『花暦八笑人』三編追加、滝亭鯉丈作『浮世床』四編、南仙笑楚満人作『錦木草紙』、巻末に滝亭鯉丈作『祇園ばやし俄当振』、『牛島土産』、『秋雨物語』の広告あり。

貞烈竹の節談 三卷三冊 人情本

【著編者】南仙笑楚満人・馱亭駒人【序年・序者】琴通舎英賀【画工】溪斎英泉【筆耕】瀧野音成【奥付等】「文政七申春発兌／江戸書房 人形町乗物町 鶴屋金助／日本橋砥石店 大坂屋茂吉／橋町二丁目 越前屋長次郎／弥左工門町 大嶋屋伝右工門」【目録】B C E【備考】下巻末に難船章楚満人作『松廻操／第三輯』演説『梅香物語』の近刊予告あり。

文政八（一八二五）年 乙酉

風俗粹好伝 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政八春・鼻山人【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E

風俗粹好伝 後編 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政八春・鼻山人【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E【備考】上巻挿絵に「大寫伝」とある千社札が描かれている。

契情肝粒志 二卷二冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政八春・味吐山人【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E【備考】下巻巻末に『廓遊女』（『契情肝粒志』後編）の広告あり。

文政九（一八二六）年 丙戌

伊勢土産二見盃 二卷二冊 滑稽本

【著編者】滝亭鯉丈【序年・序者】滝亭鯉丈【画工】春川英笑【筆耕】瀧野音成【奥付等】「江戸書肆 馬喰町二丁目角 西村屋与八／下谷長者町一丁目 加賀屋源助／京橋弥左工門 大嶋屋伝右衛門／通油町 越前屋長

次郎」【備考】下巻卷末に滝亭鯉丈作『家花王傾城姿』の近刊予告あり。

契情肝粒志 後編 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】四方人【画工】不詳
【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E【備考】刊年は仮の判断。

契情肝粒志 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政九春・鼻山人【画工】英斎泉寿【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E
花街寿々女 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政九春・鼻山人【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E
【備考】角書は「廓鑑／余興」。鼻山人作『花街鑑』の続編。下巻卷末に鼻山人作『通子／弁解』廓論語の広告あり。

廓雑談 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政九・鼻山人【画工】白水漁人【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E
【備考】角書は「永明／間記」。

廓雑談 後編 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政九春・鼻山人【画工】白水漁人【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E
【備考】角書は「永明／間記」。

廓雑談 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政九秋・鼻山人【画工】白水漁人【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E
【備考】角書は「永明／間記」。

幼婦孝義録 五卷五冊 読本

【著編者】南仙笑楚満人【序年・序者】文政九・藍水漁隠【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】「文政九稔戌春発兌／大吉利市／東都書肆 馬喰町二丁目角 西村屋与八郎／橘町二丁目 越前屋長次郎／京橋弥左工門 町 大島屋伝右衛門」【目録】E【備考】卷二挿絵に「大

鳶屋」とみえる。

幼婦孝義録 第二輯 五卷五冊 読本

【著編者】南仙笑楚満人【序年・序者】文亭綾繼【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】「于時文政九丙戌孟旦／東都物の本版元 文永堂寿梓」【目録】E【備考】奥付を「文政十稔亥春発兌／大吉利市／東武書肆 馬喰町二丁目 西村屋与八郎／橘町二丁目 越前屋長次郎／京橋弥左衛門町 大島屋伝右衛門」とするものもある。

文政一〇（二八二七）年 丁亥

契情肝粒志 四編 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政一〇春・鼻山人
【画工】菱川政信【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E

契情肝粒志 五編 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政一〇春・鼻山人
【画工】菱川政信【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】

E【備考】下巻巻末に鼻山人作『傾城／胸中』極内伝』の広告あり。

北里通 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政一〇春・鼻山人
【画工】英斎泉寿【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E【備考】『廓雑談』の続編。目録Eには「人情／引」廓節用 東里山人著 前後六冊」とある。

珍説豹の巻 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政一〇・鼻山人か
【画工】菱川政信【筆耕】不詳【奥付等】未見

珍説豹の巻 後編 三卷三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政一〇・東里山人
（鼻山人）【画工】菱川政信【筆耕】不詳【奥付等】未見

実之巻 四卷四冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政一〇春・鼻山人

【画工】英齋泉寿【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】
E【備考】角書は「孝婦／貞鑑」。全三卷三冊とした版
がある。

実之巻 後編 四卷四冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】鼻山人【画工】英齋
泉寿【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E【備考】
角書は「孝婦／貞鑑」。全三卷三冊とした版がある。

千代物語 五卷五冊 読本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政一〇春・東里山
人（鼻山人）【画工】溪齋英泉【筆耕】不詳【奥付等】
「文政十稔亥孟春発兌／東都書林 西村屋与八／大嶋屋
伝右工門」【目録】E【備考】角書は「山陽／奇談」。
卷五巻末に『千代物語』後編の広告あり。

千代物語 後編 五卷五冊 読本

【著編者】鼻山人【序年・序者】文政一〇春・鼻山人
【画工】溪齋英泉【筆耕】不詳【奥付等】「文政十稔亥
孟春発兌／東都書林 西村屋与八／大嶋屋伝右工門」【目

録】E

文政一（一八二八）年 戊子

八笑人 四編 二卷二冊 滑稽本

【著編者】滝亭鯉丈【序年・序者】東船笑登満人【画
工】溪齋英泉【筆耕】不詳【奥付等】「文政十一季戊子
孟春発兌／江戸書房 馬喰町二丁目 西村屋与八／弥左
工門町 大嶋屋伝右衛門」【目録】E

言葉花 三卷三冊 人情本

【著編者】東里山人（鼻山人）【序年・序者】文政一〇
春・東里山人（鼻山人）【画工】溪齋英泉【筆耕】不詳
【奥付等】「文政十一戊子歳春新鑄／京都 丸屋善兵衛
／山城屋佐兵衛／大阪 河内屋茂兵衛／江戸 大阪屋茂
吉／大嶋屋伝右工門」【目録】A【備考】角書は「人情
／奇縁」。

玉濃枝 三卷三冊 人情本

【著編者】南仙笑楚満人【序年・序者】文政一一春・

南仙笑楚滿人【画工】英齋泉寿【筆耕】不詳【奥付等】

「此書は書林文永堂にさる婦人より乞請て補綴を予以ゆだねしのみ」(序)【目録】E【備考】角書は「雪窓／閑語」。

名勇発功譚 五卷五冊 読本

【著編者】十返舎一九【序年・序者】文政一・春・南仙笑楚滿人【画工】春齋英笑【筆耕】不詳【奥付等】「文政十一 戊子孟春発販／三都書房 大阪心齋橋筋博労町 河内屋茂兵衛／京三条寺町 山城屋佐兵衛／江戸馬喰町 二丁目 西村屋与八／同通油町 越前屋長次郎／同京橋 弥左衛門町 大嶋屋伝右衛門」

文政一三・天保元(一八三〇)年 庚寅

仇競今様櫛 三卷三冊 人情本

【著編者】紀山人(二世十返舎一九)【序年・序者】高敷【画工】呉鳥齋【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E【備考】刊年は仮の判断。

仇競今様櫛 後編 三卷三冊 人情本

【著編者】二世十返舎一九【序年・序者】二世十返舎一九【画工】呉鳥齋【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E【備考】刊年は仮の判断。

女大学 三卷三冊 人情本

【著編者】司馬山人【序年・序者】司馬山人【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E【備考】角書は「人情／其俣」。

女大学 後編 三卷三冊 人情本

【著編者】司馬山人【序年・序者】文政一三春・司馬山人【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】「彫刻全成文 永堂が。肩持つ鼻眞に取つて」(序)【目録】E

総猿僭語 第三輯 五卷五冊 読本

【著編者】白頭子柳魚【序年・序者】文政一二・岳亭 岳山【跋年・跋者】文政一二・白頭子柳魚【画工】不詳【筆耕】洪齋逸士【奥付等】「文政十三年寅正月発兌／書肆 皇都 伏見屋半三郎／山城屋佐兵衛／浪華 河内

屋長兵衛／尾陽 美濃屋清七／東都 丁子屋平兵衛／大
嶋屋伝右衛門／大坂屋茂吉

出雲物語 五卷五冊 読本

【著編者】池田東籬（刪補）・紀美麿（原稿）【画工】
森川保之【筆耕】不詳【奥付等】「文政十三年寅孟春／
書房 東武 大嶋屋伝右衛門／丁字屋平兵衛／摂陽 河内
屋長兵衛／河内屋茂兵衛／尾陽 永楽屋東四郎／皇都
山城屋佐兵衛」

十杉伝 五卷五冊 読本

【著編者】為永春水（稿）・松亭金水（校正）【序年・
序者】文政一二春・為永春水【画工】歌川国安・歌川
国芳・歌川国丸【筆耕】松亭金水【奥付等】「文政一三
歳庚寅孟春新鐫発梓／書林 江戸弥左右工門町 文永堂
大島屋伝右衛門／同横山町二丁目 千翁軒 大坂屋半蔵
／同小伝馬町三丁目 文溪堂 丁子屋平兵衛／大坂心齋
橋通博芳町 群玉堂 河内屋茂兵衛」【目録】E【備考】
角書は「大内／興隆」。

天保二（一八三一）年 辛卯

十杉伝 二編 五卷五冊 読本

【著編者】為永春水（稿）・松亭金水（校）【序年・序
者】文亨綾繼【画工】溪斎英泉【筆耕】松亭金水【奥
付等】「天保二陽春発版 製本最善／全志書林 江戸 文
永堂 大島屋伝右衛門／大坂 群玉堂 河内屋茂兵衛／江
戸 丁子屋平兵衛」【目録】E【備考】角書は「大内／
興隆」。

天保三（一八三二）年 壬辰

春色梅児誉美 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保三春・為永春
水【画工】柳川重信【筆耕】不詳【奥付等】「花の兄文
永堂の引立に」（序）【目録】DE【備考】巻三口絵に
「大嶋」とみえる。

春色梅児誉美 後編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春水【跋年・

【跋者】九返舎主人【画工】柳川重信【筆耕】不詳【奥付等】「天保三壬辰年／春正月吉旦 江戸書林 永寿堂 西村与八／文永堂 大島屋伝右工門」【目録】DE

竜宮物語 一巻一冊 合巻

【著編者】為永春水【序年・序者】天保三春・為永春水【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【備考】管見に及んだ立命館大学アトリサーチセンター蔵本、京都大学文学部図書館蔵本、アド・ミュージアム東京蔵本全ての後ろ見返しに大島屋による処女香の広告がある。

十杉伝 三編 五巻五冊 読本

【著編者】為永春水（稿）・松亭金水（校正）【序年・序者】文政一三・文亭綾継【画工】歌川国安【筆耕】松亭金水【奥付等】「天保三歳壬辰孟春新鐫発梓／書林 江戸弥左右工門町 文永堂 大島屋伝右衛門／同横山町 二丁目 千翁軒 大坂屋半蔵／同小伝馬町三丁目 文溪堂 丁子屋平兵衛／大坂心斎橋博労町 群玉堂 河内屋茂兵衛」【目録】E【備考】角書は「大内／興隆」。

十杉伝 四編 五巻五冊 読本

【著編者】為永春水（著）・松亭金水（校正）【序年・序者】①天保二・為永春水②為永春水③為永春水【画工】歌川国直【筆耕】松亭金水【奥付等】「天保三壬辰 稔陽旦発行／江戸小伝馬町三丁目 文溪堂 丁子屋平兵衛／大坂心斎橋筋博労町 群玉堂 河内屋茂兵衛／江戸 京橋弥左衛門町 文永堂 大島屋伝右衛門」【目録】E【備考】角書は「大内／興隆」。

水滸太平記 二編 五巻五冊 読本

【著編者】岳亭定岡【序年・序者】岳亭定岡【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】「天保三壬辰春発行 書房 書房 京都 丸屋善兵衛／大坂 河内屋長兵衛／加賀屋源助／江戸 大島屋伝右工門／中村屋幸蔵」【備考】角書は「六六／土伝」。巻一〇巻末に『木曾／義仲 勲功図会』の広告のほか、『水滸太平記』の続編と『絵本和田軍記』の近刊予告あり。

天保四（一八三三）年 癸巳

仇競今様櫛 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】十返舎一九【序年・序者】天保四春・二世
十返舎一九【跋年・跋者】四方正木【画工】呉鳥齋【筆
耕】不詳【奥付等】「維時天保四年癸巳孟陽発販／東都
書肆 馬喰町二丁目 西村屋与八／京橋弥左工門町 大島
屋伝右衛門」【目録】 E

操形黄楊小櫛 三卷三冊 人情本

【著編者】十返舎一九【序年・序者】二世十返舎一九
【画工】花岡光宣【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】
E【備考】刊年は仮の判断。

春色梅児誉美 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保四春・金鈴舎
一宝【跋年・跋者】桜川善孝【画工】柳川重信【筆耕】
不詳【奥付等】「天保四年癸巳孟陽発販／江戸書房 西
村屋与八／大島屋伝右工門」【目録】 DE【備考】卷八
卷末に為永春水作『婦女八賢伝』、同作『楽焼の櫛の
政子形／黄木の小櫛の操形』当世娘身持扇』の広告、

卷九卷末に『十杉伝』五編の近刊予告あり。

春色梅児誉美 四編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保四・為永春水
【画工】柳川重信・柳川重山【筆耕】不詳【奥付等】「天
保四年癸巳季正月発行／江戸書林 永寿堂 西村屋与八
／文永堂 大島屋伝右衛門」【目録】 DE【備考】卷一
○に為永春水作『浮世人情万歳曆』、卷二に同作『美
艶仙女／美玄好男』玉手筥浦島日記』、同作『貞操婦女
八賢志』初輯・二輯の近刊予告あり。

春色辰巳園 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保四春・三亭春
馬【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【目
録】 DE【備考】角書は「梅暦／余興」。

天保五（一八三四）年 甲午

花暦八笑人 四編追加 二卷二冊 滑稽本

【著編者】滝亭鯉丈【序年・序者】天保五・滝亭鯉丈

【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】「天保五甲午年孟春開販／江戸書房 西村屋与八／大嶋屋伝右工門」

【目録】E【備考】上巻挿絵に「大嶋屋」とみえる。また下巻巻末には『花暦八笑人』五編の近刊予告あり。

春色辰巳園 二編 三巻三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】桜川善孝【画工】

歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】DE【備考】角書は「梅暦／余興」。

操形黄楊小櫛 二編 三巻三冊 人情本

【著編者】二世十返舎一九【序年・序者】天保五・金

鈴舎一宝【画工】歌川貞秀【筆耕】不詳【奥付等】「維時天保五年甲午春王発販／江戸書肆 西村屋与八／大嶋

屋伝右衛門」【目録】E

恩愛二葉艸 三巻三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】天保五・鼻山人か【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【備考】角書は「四季／眺望」。序者を「甲午春睦月 江戸人情本

作者の元祖 狂訓亭為永春水誌」とするものもある。

恩愛二葉艸 後編 三巻三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】天保五・鼻山人か【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【備考】序者を「甲午春正月 江戸人情本作者の元祖 狂訓亭為永春水誌」とするものもある。

恩愛二葉艸 三編 三巻三冊 人情本

【著編者】鼻山人【序年・序者】鼻山人【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【備考】刊年は仮の判断。

貞操婦女八賢誌 初編 三巻三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保五春・為永春水【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】「天保五甲午年孟陽発版／東都書房 馬喰町二丁目 西村屋与八／本所松阪町二丁目 平林庄五郎／京橋弥左工門町 大嶋屋伝右工門」【目録】E【備考】下巻巻末に『貞操婦女八賢誌』二輯の近刊予告あり。

好文士伝 五卷五冊 読本

【著編者】為永春水【序年・序者】①天保一一・福内
鬼外②天保一〇・文亭綾継【画工】溪齋英泉【筆耕】
不詳【奥付等】『三都全志小説発行書林／京都三条通東
洞院東江入 大文字屋得五郎／大坂心齋橋筋博労町 河
内屋茂兵衛／大坂心齋橋筋安堂寺町 秋田屋太右衛門／
江戸小伝馬町三丁目 丁子屋平兵衛／江戸京橋弥左工門
町 大寫屋伝右工門販』【目録】E【備考】角書は「芳
薫／功話」。卷五卷末に為永春水作『太平／奇聞』吉
野物語、曲亭馬琴作『著作堂一夕話』、『好文士伝』二
輯・三輯の近刊予告あり。

天保六（一八三五）年 乙未

春色辰巳園 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保六・一松舎竹
里【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【目
録】DE【備考】角書は「梅曆／余興」。

春色辰巳園 四編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】①天保六春・為永
春水②為永春水【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付
等】未見【目録】D【備考】角書は「梅曆／余興」。卷
一二卷末に為永春水作『辰巳／拾遺』栄代暖語（『春
色英対暖語』）、同作『花埜／名所』懷中曆（『花名所
懷中曆』）の近刊予告あり。

其小唄恋情紫 初編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保六秋・為永春
水【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【目
録】E

西海浪間月 五卷五冊 読本

【著編者】森川保之【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付
等】『天保六乙未孟陽発販／東武 小伝馬町三丁目 丁子
屋平兵衛／同 京橋弥左衛門町 大嶋屋伝右衛門／浪華
心齋橋筋博労町 河内屋茂兵衛／同 心齋橋筋博労町北
河内屋長兵衛／本町通七丁目 大野屋嘉兵衛／皇都 寺
町通錦小路 伏見屋半三郎／三條通麩屋町角 山城屋佐

兵衛」

天保七（一八三六）年 丙申

春色恵の花 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】①天保七・為永春水②琴通舎英賀【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】「文永堂が寿梓の中に」（序）【目録】DE

春色恵の花 二編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】桜川由次郎【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】「梅曆を開版て文永堂が常に吉日良辰となりし」（序）【目録】DE【備考】刊年は仮の判断。

花名所懐中曆 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保七春・為永春水【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】「天保七申年孟春発兌／版元 西村屋与八／鶴屋喜右衛門／若狭屋与市／製本所 大島屋伝右衛門」【目録】E【備考】角

書は「おさん／茂兵衛」。

花名所懐中曆 二編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保七春・為永春水【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E【備考】角書は「おさん／茂兵衛」。

操形黄楊小櫛 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】二世十返舎一九【序年・序者】天保七・二世十返舎一九【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E

天保八（一八三七）年 丁酉

娘太平記操早引 初編 三卷三冊 人情本

【著編者】曲山人【序年・序者】三文舎主人【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E【備考】角書は「盛衰／栄枯」。刊年は仮の判断。

娘太平記操早引 二編 三卷三冊 人情本

【著編者】曲山人【序年・序者】天保八・松亭金水【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E
【備考】角書は「盛衰／榮枯」。

天保九（一八三八）年 戊戌

花名所懐中曆 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保九春・鈴の屋
杜蝶【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E【備考】角書は「おさん／茂兵衛」。

春色英対暖語 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保八春・桃華庵
【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】「文永堂が。
好に应じて」（序）【目録】DE【備考】角書は「春抄
／媚景」。

春色英対暖語 二編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保八・為永春水
【画工】歌川国直・静斎英一【筆耕】不詳【奥付等】「天

保九戊戌年春正月発行」（序）【目録】DE

春色恋白波 五卷五冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】①天保九秋・陽風
亭柳外②為永春水③為永春水【画工】溪斎英泉【筆耕】
瀧野音成【奥付等】「公主書林 江戸小伝馬町三丁目 丁
子屋平兵衛／江戸京橋弥左工門町 大島屋伝右衛門／大
坂心齋橋博労町北江入 河内屋長兵衛／京都三条通東洞
院東江入 大文字屋専蔵」【備考】角書は「倭寵愛児／
漢余模妓」。

春色雪の梅 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春雅【序年・序者】為永春水【画工】
歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【備考】刊年は
仮の判断。

春色雪の梅 二編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春雅【序年・序者】天保九・為永春水
【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【備考】
弘化四年に再刻（奥付は「弘化四年丁未歳新刻／書房

大坂 心齋橋通南久太郎町 秋田屋市兵衛／大坂 心齋橋
通博労町 河内屋茂兵衛／江戸 大伝馬町二丁目 丁字屋
平兵衛／江戸 京橋弥左工門町 大嶋屋伝右工門板。

天保一〇（二八三九）年 己亥

其小唄恋情紫 二編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】平亭銀鷄【画工】
不詳【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E【備考】
上巻口絵に「大伝」とみえる。刊年は仮の判断。

其小唄恋情紫 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保一〇春・為永
春江【画工】静斎英一【筆耕】不詳【奥付等】「文永堂
の主人へ送りぬ」(序)【目録】E

娘太平記操早引 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】松亭金水【序年・序者】天保一〇夏・松亭
金水【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【目
録】E【備考】下巻巻末に松亭金水作『花筐』の広告

あり。

娘太平記操早引 四編 三卷三冊 人情本

【著編者】松亭金水【序年・序者】天保一〇冬・松亭
金水【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【備
考】下巻巻末に松亭金水作『花筐』の広告あり。

貞操婦女八賢誌 二編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】文亭綾繼【画工】
溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E

貞操婦女八賢誌 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保一〇・□上半
斎【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【目
録】E【備考】刊年は仮の判断。上巻に為永春水作『唾
方三人豊腹揃』、同作『好文士伝』初編・二編の広告あ
り。

天保一一（二八四〇）年 庚子

清談松の調 三卷三冊 人情本

刊年は仮の判断。

【著編者】為永春水【序年・序者】天保一一・松亭金水【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】「書林の多かる中に。文永堂の花園は」(序)

春色梅美婦襦 二編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春鶯【画工】静斎英一【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】D【備考】刊年は仮の判断。

天保一二(一八四二)年辛丑

春色恋白浪 二編 五卷五冊 人情本

春色梅美婦襦 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保一二春・為永春水【画工】静斎英一【筆耕】瀧野音成【奥付等】「全志書林 江戸 丁子屋平兵衛／大坂 河内屋長兵衛／江戸 大嶋屋伝右衛門／京都 大文字屋専蔵」

【著編者】為永春水【序年・序者】真柴庵鶯雪【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】D【備考】刊年は仮の判断。

春色伝家の花 三卷三冊 人情本

清談松の調 二編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春水【画工】歌川貞重【筆耕】不詳【奥付等】未見【備考】刊年は

綾継【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】未見

仮の判断。

春色梅美婦襦 三卷三冊 人情本

春色伝家の花 二編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春水【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】D【備考】

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春水【画工】歌川貞重【筆耕】不詳【奥付等】「目出度筆に大嶋屋が

手入」(序)【備考】刊年は仮の判断。

春色伝家の花 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春水【画工】

歌川貞重【筆耕】不詳【奥付等】未見【備考】刊年は仮の判断。

春色伝家の花 四編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春水【画工】

歌川貞重【筆耕】不詳【奥付等】「文永堂大嶋屋の伝家花の一株」(序)【備考】刊年は仮の判断。

春色伝家の花 五編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春水【画工】

不詳【筆耕】不詳【奥付等】「二小冊を。題号て伝家の花とよび。弥左衛門町の花園へ」(序)【備考】刊年は仮の判断。

寄生木草紙 後編 五卷五冊 読本

【著編者】栗杖亭鬼卯【画工】不詳【筆耕】不詳【奥

付等】「天保十二丑年初春発販／書林 江戸 小伝馬町三

丁目 丁子屋平兵衛／同京橋弥左工門町 大寫屋伝右工門／尾州 名古屋樽屋町巾下 玉野屋新右工門／江戸 馬喰町四丁目 菊屋幸三郎／京都 三条通寺町西 丸屋善兵衛／大阪 心齋橋通南久太郎町 秋田屋市兵衛」

天保一三(一八四二)年 壬寅

春色梅美婦襦 四編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保一二秋・静春主人【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】D【備考】刊年は仮の判断。

春色梅美婦襦 五編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春水【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】D【備考】刊年は仮の判断。

天保一四(一八四三)年 癸卯

海川夜話仙家月 五卷五冊 読本

【著編者】岳亭五岳【序年・序者】天保一三秋・岳亭

五岳【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】「天保十四癸

卯歲三月癸辰／書肆 江戸小伝馬町三丁目 丁子屋平兵

衛／同京橋弥左工門町 大島屋伝右工門／同馬喰町四丁

目 菊屋幸三郎／京都寺町通六角下ル 近江屋治助／同

五条橋通堺町東へ入町 丁子屋定七／大阪心齋橋通南久

太良町 秋田屋市兵衛」

弘化二（一八四五）年乙巳

益身鏡 二卷二冊 滑稽本

【著編者】為永春水【序年・序者】天保一四・為永春

水【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】「書林 京

橋弥左工門町東側 大嶋屋伝右衛門版」

天保一五・弘化元（一八四四）年甲辰

箱根草 三編 三卷三冊 滑稽本

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春水【画工】

溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】「弘化二年乙巳歲新刻

／書房 江戸 京橋弥左工門町 文永堂 大島屋伝右工門
板」

箱根草 三卷三冊 滑稽本

【著編者】滝亭鯉丈（綴）・為永春水（補）【序年・序

者】為永春水【画工】溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】

「天保十五年甲辰歲新刻／書房 大坂 心齋橋通博労町

箱根草 四編 三卷三冊 滑稽本

【著編者】為永春水【序年・序者】弘化二冬・二世為

永春水【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】未見

貞操婦女八賢誌 四編 五卷五冊 人情本

【著編者】二世為永春水【序年・序者】弘化二秋・二世為永春水【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】「書賈文永堂主來つて」(序)

名譽三十六佳撰 五卷五冊 和歌

【著編者】為永春水【序年・序者】一陽軒主人【画工】歌川国直・溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】「弘化二年乙巳歳／書肆 大坂心齋橋筋博勞町 河内屋茂兵衛／同心齋橋筋南久太郎町 秋田屋市兵衛／江戸京橋弥左工門町 大嶋屋伝右衛門板」

古今笑句柳の翠 (絵本川柳点) 一卷一冊 川柳

【著編者】文屋廼安麻呂【序年・序者】文屋廼安麻呂【画工】歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【備考】刊年は仮の判断。

弘化三(一八四六)年 丙午

貞操婦女八賢誌 五編 三卷三冊 人情本

【著編者】二世為永春水【序年・序者】二世為永春水

【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E
貞操婦女八賢誌 六編 三卷三冊 人情本

【著編者】二世為永春水【序年・序者】二世為永春水【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E

故人俳諧画譜 一卷二冊 俳諧

【著編者】松亭金水【序年・序者】松亭金水【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】「こゝに文永堂主人嚮に柳の翠を輯録して」(序)

弘化四(一八四七)年 丁未

貞操婦女八賢誌 七編 三卷三冊 人情本

【著編者】二世為永春水【序年・序者】弘化四・二世為永春水【画工】歌川貞重【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E

弘化五・嘉永元(一八四八)年 戊申

貞操婦女八賢誌 八編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】弘化五春・二世為

永春水【画工】歌川貞重【筆耕】不詳【奥付等】未見

【目錄】E

十杉伝 五編 五卷五冊 読本

【著編者】二世為永春水【序年・序者】弘化二・二世

為永春水【画工】歌川国芳【筆耕】不詳【奥付等】未

見【目錄】E【備考】角書は「大内／興隆」。

嘉永二（一八四九）年 己酉

【著編者】山田意齋【序年・序者】宮田南北【画工】

柳齋重春・宮田南北【筆耕】青霞逸人（序）【奥付等】

「嘉永二己酉十二月／東都書林 大島屋伝右衛門／浪華

書林 河内屋茂兵衛」

嘉永三（一八五〇）年 庚戌

大伴金道忠孝図会 後編 五卷五冊 読本

【著編者】山田意齋【序年・序者】嘉永二冬・松亭金

水【画工】柳齋重春【筆耕】不詳【奥付等】「嘉永三庚

戌十一月／東都書林 大島屋伝右衛門／浪華書林 河内

屋茂兵衛」

安政二（一八五五）年 乙卯

花暦八笑人 五編 三卷三冊 滑稽本

【著編者】一筆庵主人（上）・与鳳亭枝成（中・下）【序

年・序者】一筆庵主人【画工】歌川国芳・歌川芳綱【筆

耕】不詳【奥付等】「己酉歳春新版 書肆 文永堂寿梓」

（扉

質屋雀 二卷二冊 滑稽本

【著編者】葎窓貞雅【序年・序者】葎窓貞雅【画工】

富士川船麿【筆耕】不詳【奥付等】未見【備考】刊年

は仮の判断。

大伴金道忠孝図会 前編 五卷五冊 読本

質屋雀 二編 二卷二冊 滑稽本

【著編者】 葎窓貞雅【序年・序者】 葎窓貞雅【画工】
富士川船麿【筆耕】 不詳【奥付等】 「乙卯之春 京橋弥
左衛門町 大嶋屋伝右衛門／下谷御成道 紙屋徳八／目
白坂 万屋弥吉／大伝馬町二丁目 丁子屋平兵衛」【備考】
角書は「浮世／滑稽」。

鶯塚千代廻初声 二編 三卷三冊 人情本

【著編者】 松亭金水【序年・序者】 松亭金水【画工】
歌川芳虎【筆耕】 不詳【奥付等】 未見【備考】 刊年は
仮の判断。

安政六（一八五九）年 己未

易学諺解 二卷二冊 漢学

【著編者】 佐久間順正【序年・序者】 安政二冬・吉田
為政【筆耕】 不詳【奥付等】 「安政二年乙卯新鑄／故人
佐久間順正著／発兌書肆 東京府平民 東京市神田区仲
町二丁目六番地 武田伝右衛門」【備考】 求版本か。

本朝錦繡談函会 五卷五冊 読本

【著編者】 池田東籬【序年・序者】 安政六・和菊久公
【画工】 梅川東挙【筆耕】 不詳【奥付等】 「安政六己未
年九月刻成／三都発行書房 江戸 須原屋茂兵衛／山城
屋佐兵衛／岡田屋嘉七／丁子屋平兵衛／菊屋幸三郎／
大嶋屋伝右衛門／大和屋喜兵衛／京 山城屋佐兵衛／越
後屋治兵衛／大阪 河内屋藤兵衛／河内屋茂兵衛」

安政三（一八五六）年 丙辰

鶯塚千代廻初声 三卷三冊 人情本

【著編者】 松亭金水【序年・序者】 松亭金水【画工】
歌川芳虎【筆耕】 不詳【奥付等】 未見【備考】 刊年は
仮の判断。

万延二・文久元（一八六一）年 辛酉

傍廂 前集 三卷三冊 随筆

【著編者】 斎藤彦磨【序年・序者】 嘉永六・斎藤彦磨
【画工】 不詳【筆耕】 不詳【奥付等】 「官許 斎藤氏蔵

板／万延二年酉孟春 発行書肆 大坂心齋橋博勞町 河内
屋茂兵衛／同久宝寺町 河内屋源七郎／同心齋橋南江壹
丁目 秋田屋市兵衛／江戸日本橋通壹丁目 須原屋茂兵
衛／同通貳丁目 山城屋佐兵衛／同芝神明前 岡田屋嘉
七／同大伝馬町貳丁目 丁子屋平兵衛／同京橋弥左衛門
町 大島屋伝右工門」

傍廂 後集 三卷三冊 隨筆

【著編者】齋藤彦磨【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付
等】「故人 齋藤可怜著／齋藤一郎藏板／弥左工門町 書
物問屋 大島屋伝右工門」【備考】刊年は仮の判断。

元治元（一八六四）年 甲子

春色江戸紫 三卷三冊 人情本

【著編者】山々亭有人【序年・序者】山々亭有人【画
工】歌川芳虎【筆耕】不詳【奥付等】未見【備考】刊
年は仮の判断。角書は「おくみ／惣次郎」。

春色江戸紫 二編 三卷三冊 人情本

【著編者】山々亭有人【序年・序者】元治元・仮名垣
魯文【画工】歌川芳虎【筆耕】不詳【奥付等】未見【備
考】角書は「おくみ／惣次郎」。

元治二・慶応元（一八六五）年 乙丑

註釈用文章 一卷一冊 往来物

【著編者】鶴亭秀賀【序年・序者】慶応元夏・鶴亭秀
賀【筆耕】不詳【奥付等】「東都書林 文永堂藏板」（見
返し）

慶応三（一八六七）年 丁卯

花鳥山水早引漫画 一卷一冊 絵画

【著編者】葛飾為齋【画工】葛飾為齋【筆耕】不詳【奥
付等】「慶応三卯壬月刻成 弥左衛門町 大島屋伝右衛門
版」

明治二（一八六九）年 己巳

鶯塚千代廼初声 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】山々亭有人【序年・序者】明治二・温克松
円【画工】歌川芳虎【筆耕】不詳【奥付等】未見【備考】刊年は仮の判断。上巻に「文永堂寿梓」として『鶯塚千代廼初声』四編の広告あり。

鶯塚千代廼初声 四編 三卷三冊 人情本

【著編者】山々亭有人【序年・序者】明治二・山々亭
有人【画工】歌川芳虎【筆耕】不詳【奥付等】「文永堂
寿梓」(袋)

烈女銘々伝 一卷一冊 伝記

【著編者】山々亭有人【序年・序者】慶応五・山々亭
有人【画工】歌川芳虎【筆耕】不詳【奥付等】「文永堂
寿梓」(表紙)

明治三(一八七〇)年 庚午

童解英語図会 初帙 一卷一冊

【著編者】山々亭有人【序年・序者】明治三冬・山々

亭有人【画工】歌川芳幾【筆耕】不詳【奥付等】「東京

書林 須原屋茂兵衛／山城屋佐兵衛／岡田屋嘉七／和泉
屋市兵衛／丁子屋平兵衛／藤岡屋慶治郎／森屋治兵衛
／山口屋藤兵衛／大嶋屋伝右工門【備考】見返しに「東
京書房 文永堂梓」とある。

明治四(一八七二)年 辛未

童解英語図会 式帙 一卷一冊

【著編者】山々亭有人【序年・序者】明治四秋・山々
亭有人【画工】歌川芳幾【筆耕】不詳【奥付等】「東京
書林 須原屋茂兵衛／山城屋佐兵衛／岡田屋嘉七／和泉
屋市兵衛／丁子屋平兵衛／藤岡屋慶治郎／森屋治兵衛
／山口屋藤兵衛／大嶋屋伝右工門【備考】見返しに「東
京書肆 文永堂梓」とある。

明治五(一八七二)年 壬申

童解英語図会 三帙 一卷一冊

【著編者】山々亭有人【序年・序者】明治五・弄月亭

綾彦【画工】歌川芳幾【筆耕】不詳【奥付等】「京橋弥左工門町 文永堂大嶋屋伝工門板」【備考】見返しに「東京書肆 文永堂梓」とある。

明治六（一八七三）年 癸酉

復古夢物語 二卷二冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】明治六・松村春輔
【画工】歌川国輝【筆耕】不詳【奥付等】「東京書肆製本所 京橋弥左衛門町 大嶋屋伝右衛門」【備考】下巻末に「明治六年嘉平月」とある。

陽曆漢語月儀要文 一卷一冊

【著編者】萩原乙彦【序年・序者】明治六・萩原乙彦
【筆耕】不詳【奥付等】「明治六年夏四月／東京書肆 弥左衛門町 大嶋屋伝右衛門／東京書林 須原屋茂兵衛／山城屋佐兵衛／小林新兵衛／和泉屋市兵衛／岡田屋嘉七／浅倉屋久兵衛／須原屋伊八／山口屋藤兵衛／森屋治兵衛／藤岡屋慶次郎／丁子屋平兵衛／椀屋喜兵衛／大嶋屋伝右衛門」

掌中大統略記 一冊

【著編者】高橋易治【奥付等】「明治六年七月 白山高橋易治編輯 発行書肆 東京京橋弥左衛門町 武田伝右衛門」【備考】曇み物。

明治七（一八七四）年 甲戌

朝鮮事情 二卷二冊

【著編者】染崎延房【序年・序者】明治六・染崎延房
【画工】石塚寧斎【筆耕】不詳【奥付等】「明治七甲戌三月発行／東京発兌書肆 丁子屋忠七／丁子屋善五郎／大嶋屋伝右衛門」

復古夢物語 二編 二卷二冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】明治七・鎮西雄飛居士【画工】歌川国輝【筆耕】不詳【奥付等】「明治七年五月吉日発行／書肆 文永堂大嶋屋伝右衛門」【備考】下巻末に「桜雨園主人春輔著篇之表」を備える。

復古夢物語 三編 三卷三冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】明治七・松村春輔
【画工】歌川国輝【筆耕】不詳【奥付等】「明治七歳十
二月発市／東京書房 大嶋屋伝右衛門／政田屋兵吉」

明治八（一八七五）年 乙亥

寄笑新聞 第壹号 一卷一冊

【著編者】橋爪錦造（梅亭金鷲）【画工】月岡芳年【筆
耕】不詳【奥付等】「東京本石町四丁目 岩本忠蔵／同
京橋弥左工門町 大嶋屋伝右工門／横浜弁天通四丁目
中屋銀次郎／上州高崎町三丁目 柴田源作／信州上田原
町三丁目 田中長右工門／同長野吉田村 長田忠之助／
武州熊谷本町三丁目 和田貞節／東京照降町 恵比寿屋
庄七／本局 寄笑社」【備考】副題は「金貸大評議」。

寄笑新聞 第二号 一卷一冊

【著編者】橋爪錦造（梅亭金鷲）【画工】月岡芳年【筆
耕】不詳【奥付等】「東京本石町四丁目 岩本忠蔵／同
京橋弥左工門町 大嶋屋伝右工門／横浜弁天通四丁目

中屋銀次郎／上州高崎町三丁目 柴田源作／信州上田原

町三丁目 田中長右工門／同長野吉田村 長田忠之助／
武州熊谷本町三丁目 和田貞節／東京照降町 恵比寿屋
庄七／本局 寄笑社」【備考】副題は「金借手前目算」。

寄笑新聞 第三号 一卷一冊

【著編者】橋爪錦造（梅亭金鷲）【画工】月岡芳年【筆
耕】不詳【奥付等】「東京本石町四丁目 岩本忠蔵／同
京橋弥左工門町 大嶋屋伝右工門／横浜弁天通四丁目
中屋銀次郎／上州高崎町三丁目 柴田源作／信州上田原
町三丁目 田中長右工門／同長野吉田村 長田忠之助／
武州熊谷本町三丁目 和田貞節／東京照降町 恵比寿屋
庄七／本局 寄笑社」【備考】副題は「貸借問答」。

寄笑新聞 第四号 一卷一冊

【著編者】橋爪錦造（梅亭金鷲）【画工】月岡芳年【筆
耕】不詳【奥付等】「東京本石町四丁目 岩本忠蔵／同
京橋弥左工門町 大嶋屋伝右工門／横浜弁天通四丁目
中屋銀次郎／上州高崎町三丁目 柴田源作／信州上田原
町三丁目 田中長右工門／同長野吉田村 長田忠之助／

武州熊谷本町三丁目 和田貞節／東京照降町 恵比寿屋
庄七／本局 寄笑社」【備考】副題は「孔子郎釈迦蔵耶
蘇八の閉口」。

寄笑新聞 第五号 一卷一冊

【著編者】橋爪錦造（梅亭金鷲）【画工】月岡芳年【筆
耕】不詳【奥付等】「東京本石町四丁目 岩本忠蔵／同
京橋弥左工門町 大島屋伝右工門／横浜弁天通四丁目
中屋銀次郎／上州高崎町三丁目 柴田源作／信州上田原
町三丁目 田中長右工門／同長野吉田村 長田忠之助／
武州熊谷本町三丁目 和田貞節／東京照降町 恵比寿屋
庄七／本局 寄笑社」【備考】副題は「放屁弁」。

寄笑新聞 第六号 一卷一冊

【著編者】橋爪錦造（梅亭金鷲）【画工】月岡芳年【筆
耕】不詳【奥付等】「東京本石町四丁目 岩本忠蔵／同
京橋弥左工門町 大島屋伝右工門／横浜弁天通四丁目
中屋銀次郎／上州高崎町三丁目 柴田源作／信州上田原
町三丁目 田中長右工門／同長野吉田村 長田忠之助／
武州熊谷本町三丁目 和田貞節／東京照降町 恵比寿屋

庄七／本局 寄笑社」【備考】副題は「うそ論」。

寄笑新聞 第七号 一卷一冊

【著編者】橋爪錦造（梅亭金鷲）【画工】月岡芳年【筆
耕】不詳【奥付等】「東京本石町四丁目 岩本忠蔵／同
京橋弥左工門町 大島屋伝右工門／横浜弁天通四丁目
中屋銀次郎／上州高崎町三丁目 柴田源作／信州上田原
町三丁目 田中長右工門／同長野吉田村 長田忠之助／
武州熊谷本町三丁目 和田貞節／東京照降町 恵比寿屋
庄七／本局 寄笑社」【備考】副題は「のぞき眼鏡欧行
論」。

寄笑新聞 第八号 一卷一冊

【著編者】橋爪錦造（梅亭金鷲）【画工】月岡芳年【筆
耕】不詳【奥付等】「東京本石町四丁目 岩本忠蔵／同
京橋弥左工門町 大島屋伝右工門／横浜弁天通四丁目
中屋銀次郎／上州高崎町三丁目 柴田源作／信州上田原
町三丁目 田中長右工門／同長野吉田村 長田忠之助／
武州熊谷本町三丁目 和田貞節／東京照降町 恵比寿屋
庄七／本局 寄笑社」【備考】副題は「商法論の一」。

寄笑新聞第九号 一巻一冊

【著編者】橋爪錦造（梅亭金鷲）【画工】月岡芳年【筆耕】不詳【奥付等】「東京本石町四丁目 岩本忠蔵／同京橋弥左工門町 大島屋伝右工門／横浜弁天通四丁目 中屋銀次郎／上州高崎町三丁目 柴田源作／信州上田原町三丁目 田中長右工門／同長野吉田村 長田忠之助／武州熊谷本町三丁目 和田貞節／東京照降町 恵比寿屋庄七／本局 寄笑社」【備考】副題は「商法論の二」。

寄笑新聞第十号 一巻一冊

【著編者】橋爪錦造（梅亭金鷲）【画工】月岡芳年・年益【筆耕】不詳【奥付等】「東京本石町四丁目 岩本忠蔵／同京橋弥左工門町 大島屋伝右工門／横浜弁天通四丁目 中屋銀次郎／上州高崎町三丁目 柴田源作／信州上田原町三丁目 田中長右工門／同長野吉田村 長田忠之助／武州熊谷本町三丁目 和田貞節／東京照降町 恵比寿屋庄七／本局 寄笑社」【備考】副題は「学もんのすゝめ」。

寄笑新聞第十一号 一巻一冊

【著編者】橋爪錦造（梅亭金鷲）【画工】月岡芳年【筆耕】不詳【奥付等】「東京本石町四丁目 岩本忠蔵／同京橋弥左工門町 大島屋伝右工門／横浜弁天通四丁目 中屋銀次郎／上州高崎町三丁目 柴田源作／信州上田原町三丁目 田中長右工門／同長野吉田村 長田忠之助／武州熊谷本町三丁目 和田貞節／東京照降町 恵比寿屋庄七／本局 寄笑社」【備考】副題は「土商論」。

復古夢物語 四編 二巻二冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】明治八・松村春輔【画工】歌川国輝・歌川芳虎【筆耕】不詳【奥付等】「閑居明治八年三月廿三日」「東京 文永堂」（見返し）

近世桜田記聞 初編 二巻二冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】服部誠一【画工】月岡芳年【筆耕】佐瀬得所（序）【奥付等】「明治八年五月刻成／東京書林 京橋弥左衛門町 武田伝右衛門発兌」【備考】巻二巻末に「官許明治八年三月十九日 桜園社中蔵版」とある。

上野戦争実記 二卷二冊

【著編者】高島藍泉【序年・序者】明治八・高島藍泉

【画工】鮮齋永濯【筆耕】不詳【奥付等】「官許明治八年五月廿四日／高島藍泉藏版／東京書林 京橋弥左衛門町 武田伝右衛門発兌」

出版人 弥左工門町四番地 武田伝右衛門

復古夢物語 五編 二卷二冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】明治八・仮名垣魯文【画工】鮮齋永濯【筆耕】不詳【奥付等】「明治八年十一月十三日版權免許／東京浜町二丁目十一番地寄留 著人 松村春輔／弥左衛門町四番地 出版人 武田伝右衛門」

近世桜田記聞 二編 二卷二冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】明治八・近藤芳樹

【画工】月岡芳年【筆耕】不詳【奥付等】「明治八年十月十日出版／東京浜町二丁目十一番地寄留 著人 松村春輔／東京書肆 弥左衛門町四番地 出版人 武田伝右衛門」

明治九（一八七六）年 丙子

復古夢物語 六編 二卷二冊

【著編者】松村春輔【画工】鮮齋永濯【筆耕】不詳【奥付等】「明治九年一月十日出版／東京浜町二丁目十一番地寄留 著人 松村春輔／東京書肆 弥左衛門町四番地 出版人 武田伝右衛門」

一新要文 一卷一冊

【著編者】高島藍泉（著）・岸田吟香（閲）【序年・序者】岸田吟香【筆耕】佐瀬得所【奥付等】「明治八年十一月五日出版／著人 木挽町二丁目五番地 高島藍泉／

発兌書林 横浜弁天通三丁目 中屋孝吉／麴町十三丁目 十八番地 中屋政太郎／同八丁目八番地 森田鉄五郎／

春雨文庫 初編 二卷二冊

【著編者】松村春輔（著）・大久保春驪（校）【序年・序者】明治九冬・大久保春驪【画工】鮮齋永濯【筆耕】

鶴田容(序)【奥付等】「明治九年第四月一日出版／著述兼出版人 東京府下第壹大区拾三小区浜町貳丁目拾壹番地寄留 山口県平民 松村春輔／壳弘所 京橋弥左工門町 大島屋伝右衛門」

復古夢物語 七編 二卷二冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】明治九・松村春輔
【画工】鮮齋永濯【筆耕】不詳【奥付等】「明治九年六月十日出版／東京浜町二丁目十一番地寄留 著人 松村春輔／東京書肆 弥左衛門町四番地 出版人 武田伝右衛門」

復古夢物語 八編 二卷二冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】明治九・大久保春驪【画工】鮮齋永濯【筆耕】不詳【奥付等】「明治九年十二月十日出版／東京浜町二丁目十一番地寄留 著人 松村春輔／東京書肆 弥左衛門町四番地 出版人 武田伝右衛門」

近世桜田記聞 三編 三卷三冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】①明治九・松村春輔②明治九・松村春輔【画工】月岡芳年【筆耕】小室樵山(序①)・鶴田容(序②)【奥付等】「明治九年五月十日出版／東京浜町二丁目十一番地寄留 著人 松村春輔／東京書肆 弥左衛門町四番地 出版人 武田伝右衛門」

明治一〇(一八七七)年丁丑

春雨文庫 二編 二卷二冊

【著編者】松村春輔(著)・大久保春驪(校)【序年・序者】明治一〇・松村春輔【画工】鮮齋永濯【筆耕】不詳【奥付等】「明治十年第三月十日出版／著人 東京府第壹大区拾三小区浜町貳丁目拾壹番地寄留 山口県平民 松村春輔／出版人 東京府第壹大区八小区弥左衛門町四番地 大島屋伝右衛門」

二橋春話 二卷二冊

【著編者】筆鍊閣主人(編)・服部誠一(評点)【序年・序者】明治九・石井南橋【筆耕】不詳【奥付等】「版

権免許明治九年九月十九日同十年四月発売／第五大区
四区鍊堀町十五番地 服部誠一評点／東京書林 第一大
区八小区弥左衛門町四番地 武田伝右衛門／第一区六小
区下槇町十一番地 江藤喜兵衛

参考鹿兒島新誌 初編 二卷二冊

【著編者】和田定節【序年・序者】梅亭金鷲【画工】
晴齋年一【筆耕】不詳【奥付等】「明治十年九月十日御
届／同年十月三日出版／編集兼出版人 東京府土族 第
五大区八小区浅草北田原町三丁目六番地 和田定節／発
売書肆 東京弥左衛門町四番地 大島屋伝右衛門」

参考鹿兒島新誌 二編 二卷二冊

【著編者】和田定節【画工】晴齋年一【筆耕】不詳【奥
付等】「明治十年廿日御届／同年十一月三日出版／編集
兼出版人 東京府土族 第五大区八小区浅草北田原町三
丁目六番地 和田定節／発売書肆 東京弥左衛門町四番
地 大島屋伝右衛門」

参考鹿兒島新誌 三編

【著編者】和田定節【序年・序者】高島藍泉【画工】
晴齋年一【筆耕】不詳【奥付等】「明治十年十二月五日
御届／同年十二月十一日出版／編集兼出版人 東京府土
族 第五大区八小区浅草北田原町三丁目六番地 和田定
節／発売書肆 東京弥左衛門町四番地 大島屋伝右衛門」

明治一一（一八七八）年 戊寅

春雨文庫 三編 二卷二冊

【著編者】松村春輔（閱）・和田定節（著）【序年・序
者】明治一一春・祥狂【画工】晴齋年一【筆耕】不詳
【奥付等】「明治十一年二月十一日御届／著者 東京府
土族 第五大区八小区浅草北田原町三丁目六番地 和田
定節／出版人 東京府平民 第一大区八小区弥左衛門町
四番地 武田伝右衛門」

参考鹿兒島新誌 四編 二卷二冊

【著編者】和田定節【序年・序者】和田定節【画工】
晴齋年一【筆耕】不詳【奥付等】「明治十一年一月十一
日御届／編集兼出版人 東京府土族 第五大区八小区浅

草北田原町三丁目六番地 和田定節【備考】見返しに
「東京書肆 文永堂発兌」とある。

参考鹿兒島新誌 五編 二卷二冊

【著編者】和田定節【序年・序者】梅塘迂叟【画工】
晴齋年一【筆耕】不詳【奥付等】「明治十一年四月五日
御届／著者出版人 東京府土族 第五大区八小区浅草北
田原町三丁目六番地 和田定節／発兌書肆 東京弥左衛
門町 武田伝右衛門」

明治一二（一八七九）年 己卯

参考鹿兒島新誌 六編 二卷二冊

【著編者】和田定節【序年・序者】和田定節【画工】
晴齋年一【筆耕】不詳【奥付等】「明治十二年三月四日
御届／編集兼出版人 東京府土族 浅草区北田原町三丁
目六番地 和田定節／発兌書肆 東京弥左衛門町十三番
地 大島屋伝右衛門」

山中人饒舌 二卷二冊

【著編者】竹田生【序年・序者】①篠崎小竹②天保五
・角田簡【奥付等】「嘉永七年甲寅四月 原版／明治十
二年四月二十五日 翻刻御届／原板主 田能村氏藏板／
発行者 京都市京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛
門」

新門辰五郎游俠譚 初編 二卷二冊

【著編者】萩原乙彦【序年・序者】明治一二・萩原乙彦
【画工】歌川芳春【筆耕】不詳【奥付】「明治十二年五月
浅草区三好町七番地 大川屋錠吉／京橋区弥左衛門町十
三番地 大島屋伝右衛門 合梓」

新門辰五郎游俠譚 二編 二卷二冊

【著編者】萩原乙彦【序年・序者】明治一二・萩原乙彦
【画工】歌川芳春【筆耕】不詳【奥付】「明治十二年五月
浅草区三好町七番地 大川屋錠吉／京橋区弥左衛門町十
三番地 大島屋伝右衛門 合梓」

春雨文庫 四編 二卷二冊

【著編者】和田定節【序年・序者】明治一二・井住屋

のあるじ蛙生【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】「明治十二年六月五日御届／著者 東京府土族 浅草区北田原町三丁目六番地 和田定節／発兌書肆 出版人 京橋区 弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門」

巷説兎手柏 二巻二冊

【著編者】高島藍泉【序年・序者】明治一二・高島藍泉【画工】月岡芳年・落合芳幾【筆耕】不詳【奥付等】「明治十二年九月一日御届／東京京橋区弥左衛門町十三番地 出版人 武田伝右衛門／同日本橋区南茅場町四十番地 著述人 高島藍泉」

明治一三（二八八〇）年 庚辰

子弟訓 一巻一冊

【著編者】鈴木勇之助【序年・序者】明治一三・栗本鋤雲【奥付等】「明治十三年一月版權免許全三月出版／著述出版人 東京本所区永倉町七番地 鈴木勇之助／発兌書肆 全京橋区竹川町廿番地 聚珍社／全 全弥左衛門町十四番地 武田伝右衛門」

春雨文庫 五編 二巻二冊

【著編者】和田定節【序年・序者】旧秋園頑湖【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】「明治十三年二月廿五日御届／編輯人 浅草区北田原町三丁目六番地 和田定節／東京書肆 出版人 京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門」

琢華堂画譜 一巻一冊

【著編者】高島藍泉【画工】高島藍泉【跋年・跋者】明治一三・高島藍泉【奥付等】「明治十三年四月十三日御届／臨写人 静岡県土族 浅草区元吉町十七番地 高島藍泉／東京書肆 出版人 府下平民 京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／発売人 同 浅草区北清島町小 林米蔵」

蘭竹譜 一巻一冊

【著編者】貫輪吉五郎【序年・序者】明治一三・青木可笑【跋年・跋者】明治一三・秋香小史【画工】渡辺崋山【奥付等】「明治十三年五月十九日御届／編輯兼出

版人 東京府平民 日本橋区龜島町一丁目四十一番地 賈
輪吉五郎／東京書肆 京橋区弥左衛門町十三番地 武田
伝右衛門／浅草区北清島町 小林米蔵」

註釈和解古文真宝後集 二卷二冊

【著編者】田中善明(註) 【画工】不詳【筆耕】不詳【奥
付等】「明治十三年六月廿五日御届／同年七月出版／註
解人 神田区佐久間町三丁目廿一番地 東京府平民 田中
善明／出版人 日本橋区通四丁目十番地 同 松田幸助／
同京橋区弥左工門町十三番地 武田伝右衛門／発売人
芝区三島町 山中市兵衛／京橋区銀座二丁目 山中孝之
助」

書家自在 三卷三冊

【著編者】道富元礼・藤原良国 【画工】不詳【筆耕】
不詳【奥付等】「明治十三年七月二十九日翻刻御届／同
年九月出版／編輯人 道富元礼／同 藤原良国／翻刻出
版人 同日本橋区本石町四丁目三十五番地 東京府平民
中山勝次郎／同 京橋区南伝馬丁壹丁目十番地 東京府
平民 村上真助／同 京橋区弥左工門町十三番地 東京府

平民 武田伝右工門／同 神田区佐柄町二十一番地 東京
府士族 大場助一／同 京橋区南伝馬町一丁目十番地 村
上真助方寄留 高橋平三郎／同 日本橋区通四丁目十番
地 東京府平民 松田幸助」

絵入国会早合点 一卷一冊

【著編者】松村春輔【奥付等】「明治十三年八月廿四日
御届／著述人 東京日本橋区蛸殻町二丁目七番地寄留
山口県平民 松村春輔／同京橋区弥左衛門町十三番地
東京府平民出版人 武田伝右工門」【備考】活版。

註釈和解古文真宝前集 三卷三冊

【著編者】田中善明(註) 【画工】不詳【筆耕】不詳【奥
付等】「明治十三年十月廿六日御届／同年同月出版／註
解人 神田区佐久間町三丁目廿一番地 東京府平民 田中
善明／出版人 日本橋区通四丁目十番地 同 松田幸助／
同京橋区弥左工門町十三番地 武田伝右衛門／発売人
芝区三島町 山中市兵衛／京橋区銀座二丁目 山中孝之
助」

山水花鳥早引漫画 二編 一卷一冊

【著編者】葛飾為斎（遺稿）・安達吟光（編画）【画工】安達吟光【奥付等】未見【備考】見返しに「東京書肆文永堂」とある。刊年は『出版書目月報』および『東京絵入新聞』『読売新聞』掲載の広告による。

山水花鳥早引漫画 三編 一卷一冊

【著編者】葛飾為斎（遺稿）・安達吟光（編画）【画工】安達吟光【奥付等】「明治十三年十一月廿五日御届／編輯人 京橋区南鍋町二丁目七番地 安達平七／東京書肆出版人 京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門」

春風日記 初編 二卷二冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】二世為永春水【画工】安達吟光【筆耕】不詳【奥付等】「明治十三年十二月廿八日御届／著述人 府下日本橋区蛸殻町二丁目七番地 寄留 松村春輔／出版人 同京橋区弥左工門町十三番地 武田伝右衛門／発兌人 同浅草区三好町七番地 大川屋錠吉」【備考】卷二卷末に処女香の広告あり。

春雨文庫 六編 二卷二冊

【著編者】和田定節【序年・序者】【奥付等】「明治十三年十二月廿八日御届／編集人 府下本所区北二葉町二十番地 和田定節／出版人 同京橋区弥左工門町十三番地 武田伝右衛門／発兌人 同浅草区三好町七番地 大川屋錠吉」

明治一四（一八八二）年 辛巳

山水花鳥早引漫画 四編 一卷一冊

【著編者】葛飾為斎（遺稿）・安達吟光（編画）【跋年・跋者】明治一四・高島藍泉【画工】安達吟光【奥付等】「明治十四年二月二日御届／故人 葛飾北斎筆／画工編輯人 京橋区南鍋町十七番地 安達平七／出版人 同区弥左工門町十三番地 武田伝右衛門」

春風日記 二編 二卷二冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】明治一四・松村春輔【画工】安達吟光【筆耕】不詳【奥付等】「明治十四年八月八日御届／著述人 山口県平民 府下京橋区南鍋

町老丁目老番地 松村春輔／出版人 東京府平民 府下同
区弥左工門町十三番地 武田伝右衛門／同 同浅草区三
好町七番地 大川錠吉／発売人 同浅草区新福井町五番
地 高梨弥三郎」

春風日記 三編 二卷二冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】明治一四・松村春
輔【画工】安達吟光【筆耕】不詳【奥付等】「明治十四
年八月八日御届／編集人 京橋区南鍋町老丁目老番地寄
留 松村春輔／出版人 京橋区弥左工門町十三番地武田
伝右工門／同 浅草区三好町七番地 大川錠吉」

明治烈婦伝 一巻一冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】明治一四春・松村
春輔【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】「明治十四年
六月二日板権免許／著述人 京橋区南鍋町老丁目老番地
松村春輔／出版人 同区弥左工門町十三番地 武田伝右
衛門／大阪 岡田茂兵衛／同 前川善兵衛／同 前川源七
郎／同 大野木市兵衛／同岡島真七／尾州名古屋 美濃
屋代助／信州長野 西澤喜太郎／武州横浜 池田幸吉／

甲府 西川庄右衛門／東京発売書肆 山中市兵衛／山中
孝之助／山中喜太郎／覚張栄次郎／大倉孫兵衛／荒川
藤兵衛／水野慶次郎／小林鉄次郎／辻岡文助】【備考】
整版。慶応五年刊『烈女銘々伝』（大島屋伝右衛門版）
の改題補刻本。

暁斎楽画 二巻二冊

【著編者】河鍋暁斎【序年・序者】明治一四・蒲生重
章【画工】河鍋暁斎【筆耕】跡見花蹊（序）【奥付等】
「明治十四年五月十六日板権免許／同年七月三日出版
／画工 本郷区湯嶋四丁目四十二番地 河鍋洞郁／出版
人 京橋弥左工門町十三番地 武田伝右衛門／麴町区麴
町八丁目八番地 森田鉄五郎／彫工 東京府下南葛飾郡
中之郷村七十四番地 大塚鉄五郎／発売書肆 大阪心斎
橋博労町 岡田茂兵衛／同南久宝寺町 前川善兵衛／同
北久宝寺町 前川源七郎／同心斎橋一丁目 大野木市兵
衛／同本町四丁目 岡嶋真七／信州長野 西澤喜太郎／
相州横浜 池田幸吉／同 師岡屋幸助／東京日本橋通一
丁目 北島茂兵衛／同通二丁目 稻田佐兵衛／同全 小林
新兵衛／同通三丁目 丸屋善七／同通一丁目 大倉孫兵

衛／同通四丁目 金花堂佐助／同全 松田幸助／同南伝

馬町二丁目 小林新藏／同全 壱丁目 吉川半七／同芝宇

田川町 牧野吉兵衛／同浅草茅町 北澤伊八／東京浅草

広小路 吉田久兵衛／同浅草須賀町 松寄半藏／同全 瀬

山直次郎／同浅草清島町 小林米藏／同新大坂町 小林

喜右工門／同湯島松住町 别所平七／同通油町 水野慶

次郎／同馬喰町二丁目 石川治兵衛／同全 荒川藤兵衛

／同通旅籠町 東生亀次郎／同麴町四丁目 磯部太郎兵

衛／同飯倉五丁目 鈴木忠藏／同横山町二丁目 内田弥

兵衛／同本石町十軒店 江島喜兵衛／同本町二丁目 柳

川梅次郎／同芝露月町 覚張栄次郎／同銀座四丁目 山

中喜太郎／同全二丁目 山中孝之助／同芝三島町 山中

市兵衛

赤穂義士烈婦銘々伝 一卷一冊

【著編者】山々亭有人(編)・高島藍泉(閱)【序年・

序者】明治一三・高島藍泉【画工】不詳【筆耕】不詳

【奥付等】「明治十四年八月補刻／東京文永堂藏」(見

返)

崑椿靄隆近世四大家画譜 一卷一冊

【著編者】高島藍泉【序年・序者】明治一四・高島藍

泉【画工】高島藍泉(縮写)【筆耕】雲溪春(序)【奥

付等】「明治十四年十一月十五日御届／縮写人 静岡県

土 京橋区弥左衛門町壹番地 高島藍泉／出版人 府下平

民 同区同町十三番地 武田伝右衛門／発売人 浅草区新

福町五番地 高梨弥三郎

明治一五(一八八二)年 壬午

春風日記 四編 二卷二冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】明治一四・松村春

輔【画工】安達吟光【筆耕】不詳【奥付等】「明治十五

年二月廿四日御届／編輯人 京橋区南鍋町一丁目一番地

松村春輔／出版人 同区弥左工門町十三番地 東京府平

民 武田伝右工門／発売人 浅草区三好町七番地 同大

川 錠吉／発売人 同区福井町五番地 同 高梨弥三郎

春風日記 五編 二卷二冊

【著編者】松村春輔【画工】安達吟光【筆耕】不詳【奥

付等】「明治十五年二月廿四日御届／著述人 府下京橋区南鍋町一丁目一番地 松村春輔／出版人 同区弥左工門町十三番地 武田伝右衛門／同浅草区三好町七番地 大川錠吉／発売人 同区福井町五番地 高梨弥三郎」

春風日記 六編 二卷二冊

【著編者】松村春輔【序年・序者】明治一四秋・松村春輔【画工】安達吟光【筆耕】不詳【奥付等】「明治十五年二月廿四日御届／編輯人 京橋区南鍋町一丁目一番地 松村春輔／出版人 同区弥左工門町十三番地 武田伝右工門／浅草区三好町七番地 大川錠吉／発売人 同区福井町五番地 高梨弥三郎」

蝶舞奇縁 初編 二卷二冊

【著編者】顧柳散人【序年・序者】明治一五・服部誠一【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】「明治十五年四月一日版權免許／同年五月日出版／訳述兼出版人 福岡県土族 東京下谷区西町三番地寄留 桑野銳／発売書肆 武田伝右衛門／壳弘書肆 大阪 岡田茂兵衛／前川善兵衛／前川源七郎／大野市郎兵衛／岡島真七／尾州名古

屋 美濃屋代助／信州長野 西澤喜太郎／武州横浜 池田孝吉／東京 北畠茂兵衛／稻田佐兵衛／小林新兵衛／小林新造／吉川半七／大倉孫兵衛／水野慶次郎／荒川藤兵衛／辻岡文助／山中喜太郎／山中孝之助／山中市兵衛／九春社／静霞堂／巖々堂／法木徳兵衛】【備考】「発売書肆」の部分で「発売所 竹川町十一番地 九春社」とする版もある。

諸職雛形北斎図式 初編 二卷二冊

【著編者】葛飾北斎【序年・序者】明治一五・柳亭種彦【画工】葛飾北斎【筆耕】隅田了古（序）【跋年・跋者】明治一五・隅田了古【奥付等】「明治十四年十二月十七日版權免許／同十五年四月五日出版／画工 故人 葛飾為一老人／出版人 東京府下京橋区弥左工門町十三番地 武田伝右衛門／発売書肆 大阪 岡田茂兵衛／前川善兵衛／前川源七郎／大野木市兵衛／岡島真七／尾州名古屋 美濃屋代助／信州長野 西澤喜太郎／武州横浜 池田孝吉／東京 北畠茂兵衛／稻田佐兵衛／小林新兵衛／小林新造／吉川半七／大倉孫兵衛／水野慶次郎／荒川藤兵衛／辻岡文助／山中喜太郎／山中孝之助／山中

市兵衛

春色梅児誉美 初編 三卷一冊

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春水【画工】

柳川重信【奥付等】「明治十五年十一月十一日再版御届」著者故為永春水／出版人 東京府平民 武田政吉 京橋区 弥左衛門町十三番地／府下大壳捌所 神田雉子町 巖々堂／同小川町 秩山堂／人形町通り元大坂町 法木徳兵衛／飯田町二丁目 武田平治／外神田末広町 扇川堂／木挽町老丁目 万字堂／両国横山町 辻岡屋文助／馬喰町貳丁目 山口屋藤兵衛／通り油町 藤岡慶治郎／日本橋通り三丁目 丸屋鉄治郎／府下壳捌所 尾張町二丁目 津田源七／南伝馬町二丁目 伊勢屋喜三郎／本石町二丁目 武藏屋昇平／大伝馬町二丁目 三宅半四郎／浅草瓦町 森本順三郎／浅草馬道 山田屋彦兵衛／下谷池之端 仲町 伏見屋重兵衛／牛込肴町 深野弥兵衛／四ツ谷伝馬町三丁目 伊勢屋久兵衛／麴町五丁目 篠崎忠雄／各地壳捌所 横浜太田町二丁目 伊勢屋梅藏／備前岡山西大寺町 阿倍勝忠／信州南佐久郡白田駅 依田儀三郎／陸前仙台大町四丁目 木村文助／三重県津東町 浅野東

助／大坂備後町 此村彦輔／同本町四丁目 岡島真七／千葉県千葉町 立真舎／常州土浦田宿町 柳且堂／兵庫 仲町老丁目 清水瀧／江州大津京町 澤一二郎／但馬豊岡宵田町 由利安助／加州金沢尾張町 雲根堂／長崎酒屋町角 安中与兵衛／信州小諸 小山九郎兵衛／三州豊橋上伝馬町 錚々堂／駿州沼津 中村九十郎／尾張名古屋本町 石版舎／江州彦根西大工町 田中伍郎／西京寺町通り 駿々堂／信州小室 小枡屋喜太郎／尾州名古屋本町 美濃屋代助／上州高崎町 文心堂／相州小田原緑町 石寿堂喜右工門／尾州知多郡半田村 小栗太郎兵衛／同厚木天王町 米屋新吉／信州上田原町 堺屋武右工門／同松本仲町 竹内禎十郎／越後水原町 西村六平／同三條町 樋口小左工門／陸前石ノ巻二百一番地 三陸屋利兵衛／陸中盛岡本町 澤田正助／陸奥青森米町 池田吉助／同弘前土手町 野崎九郎兵衛／羽前鶴ヶ岡五日町 小池藤次郎／函館港内浜町 魁文社／同地藏町 脩文堂／豆州熱海温泉場 鈴木良三／三州豊橋呉服町 高須又八／雲州松江本町 園山喜三右工門／土州高知種崎町 澤本駒吉／右之外各府県書林絵双紙店江差出シ候間御求可被下候」【備考】活字翻刻本。口絵・挿絵は整版。

春色梅児誉美 二編 三卷一冊

【著編者】為永春水【画工】柳川重信・柳川重山【奥付等】「明治十五年十月十一日再版御届／著者 故為永春水／出版人 東京府平民 京橋区弥左衛門町十三番地 武田政吉／発売 神田区裏神保町八番地 鶴声社／府下大売捌所 両国横山町 辻岡屋文助／馬喰町式丁目 山口屋 藤兵衛／通り油町 藤岡慶治郎／日本橋通り三丁目 丸屋鉄治郎／神田雉子町 巖々堂／同小川町 秩山堂／人形町通り元大坂町 法木徳兵衛／飯田町二丁目 武田平治／外神田末広町 扇川堂／木挽町壺丁目 万字堂／（以下前項と同様）」【備考】活字翻刻本。口絵・挿絵は整版。

春色梅児誉美 三編 三卷一冊

【著編者】為永春水【画工】柳川重信【奥付等】「明治十五年十二月日再版御届／著者 故為永春水／出版人 京橋区弥左衛門町十三番地 武田政吉／発売 神田区裏神保町八番地 鶴声社」【備考】活字翻刻本。口絵・挿絵は整版。

春色梅児誉美 四編 三卷一冊

【著編者】為永春水【画工】柳川重信【奥付等】「明治十五年十月十一日再版御届／著者 故為永春水／出版人 東京府平民 京橋区弥左衛門町十三番地 武田政吉／発売 神田区裏神保町八番地 鶴声社／（以下前々項と同様）」【備考】活字翻刻本。口絵・挿絵は整版。

春色辰巳園 初編 三卷一冊

【著編者】為永春水【序年・序者】天保四・三亭春馬【画工】不詳【奥付等】「明治十五年十月十一日再版御届／著者 故為永春水／出版人 東京府平民 京橋区弥左衛門町十三番地 武田政吉／発売 神田区裏神保町八番地 鶴声社」【備考】活字翻刻本。序文・口絵は整版。卷末に「鶴声社書目」あり。

春色辰巳園 二編 三卷一冊

【著編者】為永春水【序年・序者】桜川善孝【画工】不詳【奥付等】「明治十五年十月十一日再版御届／著者 故為永春水／出版人 東京府平民 京橋区弥左衛門町

十三番地 武田政吉／発兌 神田区裏神保町八番地 鶴声社【備考】活字翻刻本。序文・口絵は整版。巻末に「鶴声社書目」あり。

春色辰巳園 三編 三卷一冊

【著編者】為永春水【序年・序者】天保六・一松舎竹里【画工】不詳【奥付等】「明治十五年十月廿三日再版御届／著者 故 為永春水／出版人 東京府平民 東京京橋弥左衛門町十三番地 武田政吉／発兌 神田裏神保町八番地 鶴声社」【備考】活字翻刻本。序文・口絵は整版。

春色辰巳園 四編 三卷一冊

【著編者】為永春水【序年・序者】天保六春・為永春水【画工】不詳【奥付等】「明治十五年十月廿三日再版御届／著者 故 為永春水／出版人 東京府平民 東京京橋弥左衛門町十三番地 武田政吉／発兌 神田裏神保町八番地 鶴声社」【備考】活字翻刻本。序文・口絵は整版。

春雨文庫 七編 二卷二冊

【著編者】和田定節【序年・序者】明治一四・二世叟齋了古【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】「明治十五年十月廿五日御届／編集人 下谷坂木町一丁目十四番地和田定節／東京書肆出版人 京橋区弥左工門町十三番地 武田伝右衛門／発売書肆 長野県善光寺 小枅屋西澤喜太郎」

仮名文章娘節用 初編 三卷一冊

【著編者】曲山人【画工】不詳【奥付等】未見【備考】活字翻刻本。未見。

仮名文章娘節用 二編 三卷一冊

【著編者】曲山人【序年・序者】三文舎主人【画工】不詳【奥付等】「明治十五年十一月廿七日再版御届／著者 故 曲山人／出版人 東京府平民 京橋区弥左衛門町十三番地 武田政吉／発兌 神田裏神保町八番地／横山町 辻岡屋文助／日本橋通二丸屋鉄次郎／神田雉子町 巖々堂／同小川町 秩山堂／飯田町 武田平治／通り油町 藤岡屋慶治郎／人形町通り 法木徳兵衛／馬喰町二

山口屋藤兵衛／木挽町一丁目 万字堂／芝三崎町 和泉屋市兵衛【備考】活字翻刻本。

仮名文章娘節用 三編 三卷一冊

【著編者】曲山人【序年・序者】天保五・三文舎主人
【画工】不詳【奥付等】「明治十五年十一月廿七日再版
御届／著者 故 曲山人／出版人 東京府平民 京橋区弥左衛門町十三番地 武田政吉／発兌 神田裏神保町八番地／（以下前項と同様）」【備考】活版。発兌は「鶴声社」。

明治一六（一八八三）年 癸未

春雨文庫 八編 二卷二冊

【著編者】和田定節【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】「明治十六年十月十九日御届／編集人 下谷区坂木町一丁目十四番地 東京府士族 和田定節／東京書肆出版人 京橋区弥左工門町十三番地 東京府平民 武田伝右衛門／発売書肆 長野県善光寺 小枅屋西澤喜太郎」

続明治烈婦伝 一卷一冊

【著編者】高島藍泉【序年・序者】明治一五・高島藍泉【画工】安達吟光【筆耕】不詳【奥付等】「明治十六年十一月廿一日御届／編輯人 静岡県士族 東京々橋区南鍋町二丁目三番地 高島藍泉／出版人 東京府平民 同京橋区弥左工門町十三番地 武田伝右衛門」

明治一七（一八八四）年 甲申

茶道手引草 二卷二冊

【著編者】堀口精一【序年・序者】①明治一六・鞆南居士②明治一六・堀口精一【筆耕】成瀬温（序②）【奥付等】「明治十七年一月廿八日御届／同三月出版／編輯人 群馬県平民 群馬県下碓氷郡下磯部村廿番地 堀口精一／出版人 東京府平民 浅草区北清島町十六番地 小林米造／発売人 同平民 浅草区北東仲町五番地 吉田久兵衛／同平民 京橋区弥左工門町十三番地 武田伝右衛門」

赤穂節義録 二編 五卷五冊

【著編者】高島藍泉【画工】安達吟光【筆耕】不詳【奥付等】「明治十七年九月五日板権免許／同年十月出版／

著者 静岡県士族 東京京橋区南鍋町二丁目二番地 高島
藍泉／出版人 東京府平民 同京橋区弥左工門町十三番
地 武田伝右衛門／壳捌書林 東京芝神明前 山中市兵衛
／日本橋通二丁目 稲田佐兵衛／横山町三丁目 辻岡屋
文助／日本橋通二丁目 大倉孫兵衛／大阪心齋橋博労町
岡田茂兵衛／同南久宝寺町 前川善兵衛／同北久宝寺
町 前川源七郎／同本町四丁目 岡嶋真七

明治一八（一八八五）年 乙酉

三体千字文 一卷一冊

【著編者】南谷新七【筆耕】村田海石【奥付等】「明治
十八年三月廿六日出版御届／同十八年四月三十日刻成
／訓点兼出版人 大阪府平民 南区安堂寺橋通三丁目五
十三番地 南谷新七／諸国発兌書肆 尾州名古屋 川瀬代
助／越中富山 大橋甚吾／加賀金沢 益智館／筑前福岡
林斧助／薩摩鹿兒島 吉田幸兵衛／東京市 京橋区弥左
衛門町十三番地 武田伝右衛門」

初学必携英学独稽古 一卷一冊

【著編者】和田定節【序年・序者】明治一八・和田定
節カ【奥付等】「明治十八年十月五日出版御届／編輯人
東京府士族 下谷区坂本二丁目三十番地 和田貞節／出
版人 東京府平民 京橋区弥左工門町十三番地 武田伝右
工門／発行書林 横山町三丁目 辻岡文助／横山町二丁
目 鶴声社／馬喰町二丁目 山口藤兵衛／芝露月町 覚張
栄次郎／日本橋通三丁目 小林鍊次郎／両国葉研堀町
鈴木喜右衛門」

古代錦繡集古図譜 一卷一冊

【著編者】加藤為直【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付
等】「明治十八年十二月廿八日御届／編輯人 千葉県士
族 赤坂区青山北町三丁目三十九番地寄留 加藤為直／
出版人 東京府平民 京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝
右衛門【備考】卷末に『北斎図式』『晁斎楽画』『花鳥
山水早引漫画』『崑山蘭竹譜』『琢華堂画譜』『近世四大
家画譜』の広告あり。

明治一九（一八八六）年 丙戌

縁結月下菊 三卷一冊

刻本。

【著編者】柳亭種彦【序年・序者】天保一〇・柳亭種彦【画工】不詳【奥付等】「明治十九年一月■日御届／同年出版／出版人 東京府平民 京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／発兌 日本橋区横山町二丁目 鶴声社／全 大坂心齋橋筋南詰 鶴声社支店東京屋／全 横浜 吉田町二丁目 鶴声社支店／全 日本橋区新和泉町一番地 今古堂／大壳捌 兎屋誠／上田屋栄次郎／金桜堂内藤／春陽堂／丸屋鉄次郎／山口屋藤兵衛／鈴木喜衛門／辻岡屋文助」【備考】活字翻刻本。

世間手代気質 卷之一 一卷一冊

【著編者】江島其磧【序年・序者】江島其磧【画工】不詳【奥付等】「明治十九年五月五日御届／全五月出版／著者 故人 其磧／出版人 京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／東京発兌書林京橋南鍋町一丁目 兎屋／全 全弥左衛門町 大島屋／全 全南伝馬町一丁目 春陽堂／全 日本橋橋町一丁目 鶴声社／全 全通り四丁目 金桜堂／全 神田淡路町 巖々堂／全 麴町四丁目 磯部屋／此他各書林絵双紙屋へ出差し置候」【備考】活字翻

世間手代気質 卷之二 一卷一冊

【著編者】江島其磧【画工】不詳【奥付等】「明治十九年五月五日御届／全六月出版／著者 故人 其磧／出版人 京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／東京発兌書林京橋南鍋町一丁目 兎屋／全 全弥左衛門町 大島屋／全 全南伝馬町一丁目 春陽堂／全 日本橋橋町一丁目 鶴声社／全 全通り四丁目 金桜堂／全 神田淡路町 巖々堂／全 麴町四丁目 磯部屋／此他各書林絵双紙屋へ出差し置候」【備考】活字翻刻本。卷之三以降は未刊。

近世桜田紀聞 七卷一冊

【著編者】松村春輔【画工】月岡芳年【筆耕】不詳【奥付等】「明治八年三月十九日出版御届／同十九年六月廿四日別製合本御届／藏版書林 東京府平民 京橋区弥左工門町十三番地 武田伝右衛門／大発売人 鶴声社／春陽堂／辻岡文助／兎屋誠」【備考】『近世桜田紀聞』三編七卷の合本再印本。

近世桜田紀聞 七卷一冊

【著編者】松村春輔【画工】不詳【奥付等】「明治八年十月廿三日版權免許／同十九年六月廿九日再版御届／東京府平民 京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／発兌人 東京日本橋区橋町四丁目十一番地 鶴声社本店／同 大坂心齋橋南詰 鶴声社支店／同 横浜区吉田町一丁目六番地 鶴声社支店」【備考】活版。

三日月阿專 六卷一冊

【著編者】為永春水【序年・序者】文亭綾繼【画工】不詳【奥付等】「明治十九年十月二日御届／同年全月十六日出版／故人 為永春水作／出版人 東京府平民 京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／大壳捌 日本橋区横山町三丁目 辻岡文助／京橋区南鍋町一丁目 兎屋誠／日本橋区橋町一丁目 鶴声社／日本橋区通四町目 春陽堂／日本橋区本石町二丁目 上田屋栄三朗／日本橋区葉研堀町 鈴木喜右衛門」【備考】活字翻刻本。

園雪三勝草紙 三卷一冊

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春水【画工】

不詳【奥付等】「明治十九年十月五日御届／同年十一月出版／故人 為永春水作／出版人 東京府平民 京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／大壳捌 日本橋区横山町三丁目 辻岡文助／京橋区南鍋町一丁目 兎屋誠／日本橋区橋町一丁目 鶴声社／日本橋区通四町目 春陽堂／日本橋区本石町二丁目 上田屋栄三朗／日本橋区葉研堀町 鈴木喜右衛門」【備考】活字翻刻本。

明治二二（一八八九）年己丑

人情解剖詩 一卷一冊

【著編者】中島嵩【序年・序者】仮名垣魯文【跋年・跋者】①仮名垣魯文②明治二一・大槻如電【画工】不詳【奥付等】「明治二十二年一月三日印刷／同年同月十二日出版／著作者 東京牛込区市谷田町二丁目四十番地 中島嵩／発行兼印刷者 全本郷区春木町三丁目十三番地 武田伝右衛門／発売人 全日本区川瀬石町二番地 林平次郎」【備考】活版。

風来先生春遊記 三卷三冊

【著編者】陳奮翰【序年・序者】①安永八・陳奮翰②
醉多道士【跋年・跋者】安永八・板部羅甫【奥付等】「明
治十四年四月新刻／同廿二年五月求版／東京市本郷区
春木町三丁目十三番地寄留 武田伝右衛門／同浅草区三
好町七番地 大川錠吉」【備考】整版。明治一四年の『風
来山人春遊記』（弘令社版）を求版。改題本。

明治三三（一八九〇）年 庚寅

易学通解 二卷二冊 漢学

【著編者】井田龜学（著）・栗原龜山（校）・田井龜戴
（校）【序年・序者】寛政八・【筆耕】不詳【奥付等】「明
治廿三年七月十日三版印刷出版／発行兼印刷者 東京書
舗 東京市神田区仲町二丁目六番地 武田伝右衛門」【備
考】嘉永四年再印の『易学通解』（英大助版）を求版か。

明治二四（一八九一）年 辛卯

俳諧新五百題 二卷二冊

【著編者】鳥越等裁（校）・武田正吉（編）【序年・序

者】①明治二四・鳥越等裁②明治二三・幹朶園【奥付
等】「明治廿四年十月廿五日印刷／今年十月廿七日出版
／著作者 東京府平民 京橋区弥左工門町拾二番地 武田
正吉／発行者印刷人 本郷区春木町三丁目拾三番地 武
田伝右工門／発行所 浅草区三好町七番地 大川錠吉」
【備考】整版。明治二二年刊の春秋園瀧川編・佳峰園
等裁校『明治玉簾集』（稲田佐兵衛版）の改題再印本。

明治二五（一八九二）年 壬辰

美術彫刻画譜 一卷一冊

【著編者】不詳【序年・序者】明治四・岡本竺【奥付
等】「明治廿五年二月二十日印刷／明治廿五年三月日出
版／印刷兼発行者 東京市京橋区弥左工門町拾三番地
武田伝右衛門／発売元 東京市本郷区春木町三丁目拾三
番地 文永堂／特別発売書肆 辻岡屋文助／上田屋栄三
郎／大川屋錠吉／山口屋藤兵衛／金桜堂／春陽堂／明
道堂／辻本九兵衛／目黒支店／小林喜右衛門／大倉書
店」【備考】弘文館から求版か。

明治二九（一八九六）年 丙申

明治三〇（一八九七）年 丁酉

明治開化用文 一卷一冊

光琳百図 二卷二冊

【著編者】佐久間米三郎【筆耕】不詳【奥付等】「明治廿九年八月廿九日求版／著者 佐久間米三郎／発行兼印刷者 本郷区春木町三丁目十三番地 武田伝右衛門／壳捌所 浅草区三好町七番地 大川錠吉」【備考】明治一十七年刊『明治小学用文』（青琳堂高橋松之助版）の改題後印本。

【著編者】【序年・序者】亀田鵬斎【奥付等】「明治三十年八月三十日求版／明治三十年九月一日印刷／明治三十年九月五日発行／発行兼印刷者 東京市本郷区春木町三丁目十三番地 武田伝右衛門」【備考】文化一二年刊の『光琳百図』前編二卷二冊を求版。

明治三一（一八九八）年 戊戌

漢画独楽譜 一名うひ学 二卷二冊

【著編者】松岡正盛（著）・吉田信孝（閱）・松岡鉦吉

近世先哲叢談 正編 二卷二冊

（閱）【序年・序者】明治一五・松岡正盛【画工】松岡正盛【奥付等】「明治十五年八月廿八日板権免許／同廿九年十月二日求版／著者并画工 東京府平民 下谷区下谷西町三十三番地 松岡正盛／発行兼印刷者 本郷区春木町三丁目十三番地 武田伝右衛門／壳捌所 浅草区三好町七番地 大川錠吉」【備考】木版。明治一五年刊の『漢画独楽譜』二卷二冊（北澤伊八版）を求版。

【著編者】松村操【序年・序者】明治一三・阪谷朗廬

【奥付等】「版権所有 文永堂藏版」（上巻見返し）【備考】整版。明治一三年刊の『近世先哲叢談 正編』（巖々堂岩崎好正版）を求版。

近世先哲叢談 続編 二卷二冊

【著編者】松村操【序年・序者】明治一五・蒲生重章【奥付等】「明治一三年七月十日板権所有／明治三十一

年四月十日再版／著者 東京浅草東三筋町五十九番地
松村操／発行兼印刷者 同本郷春木町三丁目十三番地
武田伝右衛門【備考】整版。明治一五年刊の『近世先
哲叢談 続編』（敵々堂岩崎好正版）を求版。

明治三二（一八九九）年 己亥

本朝画史 五卷五冊

【著編者】狩野永納【序年・序者】①延宝六・林鷲峰
②元禄六・狩野永納【跋年・跋者】元禄六・狩野永納
【奥付等】「明治三十二年二月求版／発行所 東京市京
橋区南紺屋町十八番地 尚栄堂 小川寅松／発行所 東京
市本郷区春木町三丁目十三番地 文永堂 武田伝右衛門」
【備考】整版。

仏像図彙 五卷五冊

【著編者】土佐秀信【序年・序者】天明三・土佐秀信
【跋年・跋者】元禄三・指月軒義山【画工】土佐秀信
【筆耕】不詳【奥付等】「明治十九年五月二十日御届／
同卅三年三月廿八日求版／発行兼印刷者 京橋区弥左工

門町拾三番地 武田伝右衛門【備考】寛政四年再版『仏
像図彙』を明治一九年六月に出版した寺田熊治郎より
求版か。

明治三四（一九〇二）年 辛丑

篆隸十体千字文 一卷一冊

【著編者】孫丕顯（編）・王基（校）【奥付等】「明治
卅四年一月十五日購版／発行者 東京市京橋区弥左衛門
町十三番地 武田伝右衛門」【備考】整版。文化一四年
刊の『篆隸十体千字文』（西村屋与八版）を求版。

明治三六（一九〇三）年 癸卯

育兒衛生顧問 一卷一冊

【著編者】東京衛生協会【序年・序者】柴田伊莚牟【奥
付等】「明治三十六年六月二十日印刷／明治三十六年六
月廿五日／纂訳者 東京衛生協会／右代表者 柴田伊莚
牟／発行者 東京市麹町四丁目十三番地 磯部太郎兵衛
／同 東京市京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門

／印刷者 東京市京橋区京橋水谷町七番地 山村郁作／
発売元 東京市麹町区麴町四丁目十三番地 文昌堂／同
東京市神田区仲町二丁目六番地 文永堂／東京大売捌
東京堂／林六合館／岡崎屋／南江堂／関西大売捌 森村
九兵衛／盛文堂／積善館」【備考】活版。

小児歯牙衛生論 一巻二冊

【著編者】伊澤信平（校閲）・重城養二（著）【序年・
序者】明治三六・重城養二【奥付等】「明治三十六年十
一月二十日印刷／明治三十六年十一月廿六日発行／校
閲者 伊澤信平／著者 東京市京橋区南伝馬町一丁目一
番地 重城養二／発行兼印刷者 東京市京橋区弥左衛門
町十三番地 武田伝右衛門／発売所 東京市神田区仲町
二丁目 文永堂書店」【備考】活版。

明治三九（一九〇六）年 丙午

小説字林 一巻一冊

【著編者】桑野銳【序年・序者】明治一七・三木愛花
【奥付等】「明治十四年四月十九日版權免許／同三十九

年八月二日求版／纂輯人 福岡県士族 京橋区築地二丁
目十六番地 桑野銳／発行者 東京市京橋区弥左工門町
十三番地 武田伝右衛門／発行所 東京市神田区仲町二
丁目六番地 文永堂 武田伝右衛門」【備考】明治一七年
刊の『小説字林』（九春社版）を求版。

明治四二（一九〇九）年 己酉

世界新おとぎ 一巻一冊

【著編者】雨谷幹一【序年・序者】明治四二・猿蟹山
人【画工】谷洗馬【奥付等】「明治四十二年四月十七日
印刷／明治四十二年四月廿二日発行／編者 雨谷幹一／
発行者 東京市京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛
門／発行者 東京市神田区仲町二丁目六番地 中島卯三
郎／印刷者 東京市芝区桜田鍛冶町四番地 高宗啓蔵／
発行所 東京市京橋区弥左衛門町十三番地 武田文永堂
／東京市神田区仲町二丁目六番地 中島辰文館」【備考】
活版。

明治四三（一九一〇）年 庚戌

偉人幽齋 一卷一冊

【著編者】池辺義象【序年・序者】明治四三・池辺義象【奥付等】「明治四十三年九月十五日印刷／明治四十三年九月二十日発行／著者 池辺義象／発行者 東京市

神田区仲町二丁目六番地 中島卯三郎／印刷者 東京市神田区蠟燭町八番地 武木信賢／発行所 東京市京橋区南伝馬町一丁目 吉川弘文館／同 京都市上京区寺町二條下ル 松田庄助／同 東京市京橋区弥左衛門町 武田文永堂／東京市神田区仲町二丁目 中島辰文館」【備考】活版。

古文後集講話 二卷一冊

【著編者】森伯容（訳）【奥付等】「明治四十三年十月五日印刷／明治四十三年十一月一日発行／著者 森伯容 訳／発行者 東京市京橋区南紺屋町十八番地 小川寅松／発行者 東京市京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／印刷者 東京市京橋区弓町廿四番地 金子久太郎／印刷所 東京市京橋区弓町廿四番地 三協印刷株式会社／発行所 京橋区南紺屋町 尚楽堂／京橋区弥左衛門

町 文永堂」【備考】活版。

明治四四（一九一）年 辛亥

芸者 一卷一冊

【著編者】田村西男【奥付等】「明治四十三年十二月十五日印刷／明治四十四年一月三日発行／著者 田村西男／発行者 東京市神田区仲町二ノ六 中島卯三郎／印刷者 東京市京橋区新栄町五ノ二 山内鋏次郎／発行所 東京市神田区仲町 中島辰文館／発行所 東京市京橋区弥左衛門町 武田文永堂」【備考】活版。

陽明学と偉人 一卷一冊

【著編者】仙洞隠士【序年・序者】明治四四・仙洞隠士【奥付等】「明治四十四年一月三十日印刷／明治四十四年二月十五日発行／著者 佐藤庄太／発行者 東京市京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／発行者 東京市神田区仲町二丁目六番地 中島卯三郎／発行所 東京市京橋区弥左衛門町十三番地 武田文永堂／発行所 東京市神田区仲町二丁目六番地 中島辰文館」【備考】活版。

俳諧江戸調 一巻一冊

【著編者】熊谷無漏【序年・序者】明治四四・小泉迂

外【奥付等】「明治四十四年八月二日印刷／明治四十四年八月十日発行／著者 熊谷発之介／発行者 東京市神田区新栄町二ノ六 中島卯三郎／印刷者 東京市京橋区新栄町五ノ二 山内鋏次郎／発行所 東京市神田区仲町 中島辰文館／発行所 東京市京橋区弥左衛門町 武田文永堂」

【備考】活版。

義太夫の心得 一巻一冊

【著編者】竹本撰津大掾・熊谷無漏【序年・序者】①

明治四四・岡鬼太郎②明治四四・竹本撰津大掾【奥付等】「明治四十四年十月五日印刷／明治四十四年十月十日発行／著者 二見金助／著者 熊谷発之介／発行者 東京市神田区仲町二ノ六 中島卯三郎／印刷者 東京市京橋区新栄町五ノ二 山内鋏次郎／発行所 東京市神田区仲町 中島辰文館／発行所 東京市京橋区弥左衛門町 武田文永堂」【備考】活版。

大正二（一九一三）年 癸丑

廓模様 一巻一冊

【著編者】生田蝶介【序年・序者】大正二・生田蝶介
【画工】武田ひさし【奥付等】「大正二年七月一日印刷／大正二年七月十日発行／著者 生田蝶介／発行者 東京市京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／印刷者 東京市神田区松下町七、八番地 堀藤太郎／発行所 東京市京橋区弥左衛門町 文永堂／発売所 東京市神田区仲町 辰文館」【備考】活版。

大正三（一九一四）年 甲寅

草書日要集字 一巻一冊

【著編者】小野鷺堂【奥付等】「大正三年正月廿五日印刷／大正三年正月参拾日発行／書者 東京市神田区猿楽町三丁目二番地 小野鋏之助／発行者 東京市京橋区鈴木町十二番地 斯華会出版部 右代表者 林縫之助／発行兼印刷者 東京市神田区表神保町六番地 斎藤藤次郎／印刷所 東京市京橋区木挽町式丁目十番地 電新堂印

刷所／発行所 東京市神田区表神保町六番地 文永堂／
発行所 東京市京橋区新栄町五丁目 合資会社吉川弘文
館」

書家自在 三巻二冊

【著編者】梅辻春樵【奥付等】「大正三年一月廿五日印
刷／大正三年二月五日発行／校閲者 梅辻春樵／編輯兼
発行者 東京市京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛
門／発行所 東京市京橋区弥左衛門町 文永堂／発売本
東京市神田仲町 辰文館」【備考】活版。

大正四（一九一五）年 乙卯

改正戸籍願届一斑 一巻一冊

【著編者】中島忠一【奥付等】「大正四年一月十日印刷
／大正四年一月十五日発行／著作兼発行者 中島忠一／
印刷者 東京市芝区南佐久町二丁目十二番地 吉田鍵吉
／印刷所 東京市芝区南佐久町二丁目十二番地 吉田活
版所／発行所 東京市京橋区弥左衛門町 武田文永堂／
名古屋市中区横三蔵町五丁目 梶尾文光堂」【備考】活

版。

大正五（一九一六）年 丙辰

漢字のくづし方 一巻一冊

【著編者】斎藤春村【序年・序者】大正五・斎藤春村
【筆耕】不詳【奥付等】「大正五年九月十日印刷／大正
五年九月廿日発行／編著者 斎藤春村／発行兼印刷者
東京市京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／印刷
所 東京市京橋区新栄町五丁目二番地 山内鋏次郎／発
行元 東京市京橋区弥左衛門町 文永堂／売捌所 東京市
神田区仲町 辰文館／同 東京市浅草区三好町 大川屋」

論画竹偶筆 竹石小言 一巻一冊

【著編者】伊藤茂右衛門【序年・序者】大正五・伊藤
茂右衛門【跋年・跋者】宮内黙三【奥付等】「大正五年
九月十日印刷／大正五年九月廿日発行／編輯者 伊藤茂
右衛門／発行兼印刷者 東京市京橋区弥左衛門町十三番
地 武田伝右衛門／印刷所 東京市京橋区新栄町五丁目
二番地 山内鋏次郎／発行元 東京市京橋区弥左衛門町

文永堂」【備考】活版。

大正六（一九一七）年丁巳

草書の書方 一巻一冊

【著編者】齋藤春村【序年・序者】①大正六・瀧澤菊太郎②大正六・齋藤春村【奥付等】「大正六年四月十日印刷／大正六年四月十五日発行／編書者 齋藤春村／発行兼印刷者 東京市京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／印刷所 東京市京橋区新栄町五丁目二番地 新栄社印刷所／発行元 東京市京橋区弥左衛門町 文永堂／売捌所 東京市神田区仲町 辰文館／東京市浅草区三好町 大川屋／神田区表神保町 精文館」

近世詩作幼学便覧 続 二巻一冊

【著編者】福井淳【奥付等】「明治拾六年一月廿七日出版御届／大正六年七月二十七日第拾七版／編輯人 福井淳／発行者 京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／印刷者 京橋区新栄町五丁目二番地 山内鉄次郎／発行所 京橋区弥左衛門町十三番地 文永堂／売捌所 神田

区仲町二丁目六番地 辰文館」【備考】活版。花井卯助から求版か。

新案女子文のかき方 一巻一冊

【著編者】齋藤春村【序年・序者】大正六・齋藤春村【奥付等】「大正六年九月五日印刷／大正六年九月十日発行／編書者 齋藤春村／発行兼印刷者 東京市京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／印刷所 東京市京橋区新栄町五丁目二番地 新栄社印刷所／発行元 東京市京橋区弥左衛門町 文永堂／売捌所 東京市神田区仲町 辰文館／東京市浅草区三好町 大川屋／神田区表神保町 精文館」

かなの書方 一巻一冊

【著編者】齋藤春村【序年・序者】大正六・齋藤春村【奥付等】「大正六年九月五日印刷／大正六年九月十日発行／著書者 齋藤春村／発行兼印刷者 東京市京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／印刷所 東京市京橋区新栄町五丁目二番地 新栄社印刷所／発行元 東京市京橋区弥左衛門町 文永堂／売捌所 東京市神田区仲

町 辰文館／東京市浅草区三好町 大川屋／神田区表神保町 精文館」

大正七（一九一八）年 戊午

実験奇薬自宅療法 一卷一冊

【著編者】本草研究会【奥付等】「大正七年四月廿五日印刷／大正七年五月一日発行／本草研究会編／東京市京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／印刷所 東京市京橋区新栄町五丁目二番地 新栄印刷合資会社／発行所 京橋区弥左衛門町十三 武田文永堂」【備考】活版。

濟世致富 坤元術 一卷一冊

【著編者】岩本粹石【序年・序者】大正七・咫尺庵主人【奥付等】「大正七年九月五日印刷／大正七年九月十日発行／著者 岩本粹石／発行者 東京市京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右衛門／印刷人 東京市京橋区新栄町五丁目二番地 岩本菊雄／印刷所 東京市京橋区新栄町五丁目二番地 新栄印刷合資会社／発行元 東京市京橋区弥左衛門町 文永堂／売捌所 東京市神田区仲町

辰文館／東京市浅草区三好町 大川屋／神田区表神保町 精文館」【備考】活版。

大正八（一九一九）年 己未

素人早わかり民間日用 まじなひ秘法 一卷一冊

【著編者】顕神学会【序年・序者】大正七・陶々主人【奥付等】「大正八年二月十日印刷／大正八年二月十五日発行／顕神学会編纂／発行兼印刷者 東京市京橋区弥左衛門町十三番地 武田伝右工門／印刷所 東京市京橋区新栄町五丁目二番地 新栄印刷合資会社／発行所 武田文永堂」【備考】活版。

大正九（一九二〇）年 庚申

日本名勝詩選 六卷五冊

【著編者】陳克恕（述）・行徳王江（校）【序年・序者】明治三二・藤沢恒【奥付等】「大正九年一月五日六版印刷／大正九年二月五日六版発行／著作者 行徳王江／発行者 東京市京橋区弥左工門町十三番地 武田伝右衛門

／印刷所 東京市京橋区新栄町五丁目式番地 新栄印刷
合資会社／発行所 東京市京橋区弥左衛門町十三番地
文永堂【備考】活版。明治三二年刊の『日本名勝詩選』
（青木嵩山堂版）を求版。

篆刻鍼度 八卷二冊

【著編者】近藤南州【序年・序者】明治三一・近藤南
州【奥付等】「大正九年一月五日六版印刷／大正九年二
月五日六版発行／著作者 近藤元粹／発行所 東京市京
橋区弥左工門町十三番地 武田伝右衛門／印刷所 東京
市京橋区新栄町五丁目式番地 新栄印刷合資会社／発行
所 東京市京橋区弥左衛門町十三番地 文永堂」【備考】
活版。明治三二年刊の『篆刻鍼度』（青木嵩山堂版）を
求版。

杜工部詩醇 六卷三冊

【著編者】近藤元粹【奥付等】「大正九年一月五日六版
印刷／大正九年二月五日六版発行／著作者 近藤元粹／
発行所 東京市京橋区弥左工門町十三番地 武田伝右衛
門／印刷所 東京市京橋区新栄町五丁目式番地 新栄印

刷合資会社／発行所 東京市京橋区弥左衛門町十三番地
文永堂【備考】活版。明治三〇年刊の『杜工部詩醇』
（青木嵩山堂版）を求版。

刊年不明

春色英対暖語 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春水【画工】
歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】DE【備
考】卷七口絵に「大でん」という千社札がみえる。ま
た巻九巻末に為永春水作『勅なればいとも／かしこき
鶯の』声音美談軒端の梅』の広告あり。

春色英対暖語 四編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春水【画工】
歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】DE【備
考】巻一〇に為永春水作『春色梅美婦祢』、同巻末に為
永春水作『六女競今様六桂撰』の広告あり。

春色英対暖語 五編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】平亭銀鷄【画工】
歌川国直【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】D E【備考】卷一三に「米八婀娜吉丹次郎の物語類本目録」を備える。また卷一五卷末に『春色梅実婦祢』の近刊予告あり。

玉濃枝 二編 三卷三冊 人情本

【著編者】南仙笑楚満人【序年・序者】①琴通舎英賀
②南仙笑楚満人【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】「本文彫刻揃し日文永堂の帳場に座し」(序②)【目録】E
【備考】角書は「雪窓／閑語」。

貞操婦女八賢誌 九編 三卷三冊 人情本

【著編者】二世為永春水【序年・序者】二世為永春水
【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E
花名所懐中曆 四編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】陽風亭柳升【画工】
溪斎英泉【筆耕】不詳【奥付等】未見【目録】E

春色雪の梅 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春雅【序年・序者】為永春水【画工】
不詳【筆耕】不詳【奥付等】未見

春色雪の梅 四編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春雅【序年・序者】①為永春水②為永
春笑【画工】不詳【筆耕】不詳【奥付等】「文永堂が題
号し」(序①)

清談松の調 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】松亭金水【画工】
歌川芳藤【筆耕】不詳【奥付等】未見

清談松の調 四編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春水【画工】
不詳【筆耕】不詳【奥付等】未見【備考】上巻口絵に
「大島屋」とみえる。

春色鶯日記 四編 三卷三冊 人情本

【著編者】為永春水【序年・序者】為永春水【画工】

不詳【筆耕】 不詳【奥付等】 「全志書林 江州八日市 小杉文右衛門／江戸 大島屋伝衛門／丁子屋平兵衛／大坂 河内屋茂兵衛」

娜真都翳喜 三卷三冊 人情本

【著編者】 為永春水【序年・序者】 為永春水【画工】 歌川国直【筆耕】 不詳【奥付等】 未見

娜真都翳喜 二編 三卷三冊 人情本

【著編者】 為永春水【序年・序者】 為永春水【画工】 歌川国直【筆耕】 不詳【奥付等】 未見【備考】 中巻挿絵に「大伝」とみえる。

娜真都翳喜 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】 為永春水【序年・序者】 為永春笑【画工】 歌川国直【筆耕】 不詳【奥付等】 未見

娜真都翳喜 四編 三卷三冊 人情本

【著編者】 為永春水【序年・序者】 為永春水【画工】 歌川国直【筆耕】 不詳【奥付等】 「文永堂が。例ながら

の丹誠に」(序)

春色江戸紫 三編 三卷三冊 人情本

【著編者】 山々亭有人【序年・序者】 山々亭有人【画工】 歌川芳虎【筆耕】 不詳【奥付等】 「文永堂寿梓」(下巻末)【備考】 角書は「おくみ／惣次郎」。

絵本実語教 一卷一冊 教訓

【著編者】 為永春水【跋年・跋者】 為永春水【画工】 不詳【筆耕】 不詳【奥付等】 「江戸書林 京橋南中通り 弥左工門町中程 大嶋屋伝右衛門梓」【備考】 巻末に為永春水撰『三十六佳撰』の広告あり。

絵本大学幼稚講釈 一卷一冊 教訓

【著編者】 不詳【画工】 不詳【筆耕】 不詳【奥付等】 「江戸書林 京橋南中通り 弥左工門町中程 大嶋屋伝右衛門梓」【備考】 巻末に為永春水撰『三十六佳撰』の広告あり。